ライオン誌（毎月20日発行）第57巻第1号 2014年6月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION

IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

WWW.THELION-MAG.JP JULY 2014

7

今月のTHEME

ライオンズ炊き出しグランプリ

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書／ライオンズ文庫

ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。

新書判 224ページ 1部500円・送料実費
※50部以上ご注文の場合、送料無料
（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引
100～499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

ライオンズ新書02 LCIF早分かり

ライオンズクラブ国際財団の目的やその仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 176ページ 1部400円・送料実費
※50部以上ご注文の場合、送料無料
（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引
100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

ライオニズムよ永遠に

ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズの生涯を時代と共に活写した労作。

B6判 224ページ 1部800円・送料実費

ウィ・サーブ

日本にライオンズクラブが誕生した1952年から2002年まで、日本ライオンズ50年間の歴史。

B6判 332ページ 1部800円・送料実費

『ライオン誌』創刊号復刻版

1958年創刊の『ライオン誌』日本語版を復刻。誌面から草創期の活気がひしひしと伝わってくる。

B5判 68ページ 1部300円・送料実費

ライオンズスクール・シリーズ

初級編・ライオンズクラブ入門

第3版第4刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

中級編・クラブ運営の基礎知識

第3版第3刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

上級編・リーダーシップを養う

第1版第5刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

■お申し込みは巻末の注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。

LION MAGAZINE IN JAPAN
July 2014, Vol.57 No.1

We Serve CONTENTS

■2014年7月号
表紙
高知県大月町
柏島の海
写真／鈴木秀晃

4 国際会長メッセージ ● 「夢を実現したライオンズ」

5 THEME ● ライオンズ炊き出しグランプリ

今月のTHEME企画「炊き出しグランプリ」にエントリーしたのは、北は北海道から南は四国まで12のライオンズクラブ。クラブが大災害の被災地で振る舞った炊き出し料理の中から、読者による「食べてみたい炊き出し料理」の投票で、見事、グランプリに選ばれたのは……。

6：グランプリ＝青森県弘前東奥／10：準グランプリ＝香川県丸亀京極／12：ライオンズ炊き出しグランプリ・エントリークラブ一覧

18 2014-15年度 地区ガバナー紹介

24 被災地のライオンズは今 ● 宮城県気仙沼

26 執行役員だより ● 「世界の潮流に乗り遅れぬために」山田實紘

27 LIONS NEWS CASSETTE

27：共に眼病との闘いに挑むLCIFとカーター・センター／28：2014-15年度国際第2副会長立候補者が8人に／28：トロント国際大会直前情報／28：八複合地区の議長が福島県内の被災地域を視察／29：家族会員の会員登録について／29：会議録／30：新結成・解散／30：訃報／30：国際大会開催予定／31：世界で奉仕するライオンズ

32 LCIFファイル

34 CLUB REPORT

34：香川県坂出シニア／36：和歌山西／36：栃木県今市／37：佐賀県肥前有田／37：和歌山県御坊中央／38：東京桑都／40：兵庫県そのだ／40：千葉県柏創生／41：北海道新冠／41：福島県飯野／42：兵庫県加古川東／42：富山

43 獅子吼

43：「YCE生とのドイツでの再会」寳珠山貞兆／44：「硝子ペン」中村仁一／45：「変革と発展を遂げる中野の街と東京中野ライオンズクラブ」高山義章／46：「400%MJFへの軌跡」橋本一将

48 ippin ● 宮崎県高千穂町　こびる

49 ふるさと探訪 ● 島根県安来市

54 READERS ROOM

54：読者から／読者プレゼント

55：もう一度読みたい「あの記事」● 「ライオニズムの哲学」

56 EDITORS ROOM

56：ライオン誌例会のススメ／次号予告

57：編集室 ● 「ライオン誌の活用と参加を」佐藤義則

58 日本ライオンズクラブ　分布図

A Message From Our President

Barry J. Palmer
Your Lions Clubs
International President

夢を実現したライオンズ

今年の初めにインドで、山に登り、川を越え、急流を下り、野生の象に立ち向う力強い人々の一団に出会いました。彼らがこうした試練に挑むのは、限界や障壁の多くは心の中だけにあることを自らに証明するためです。***身体障害者を対象とするこの感動的なプログラムに、ライオンズは惜しみない支援を行っています。***

私は国際会長として世界各地を旅する中で、食料を提供し、視力を取り戻させ、青少年に責任感を持つことを教えるライオンズのプログラムや事業に触れ、同様の感動を覚えています。今年度私は、皆さんに夢を追いかけるよう呼び掛けてきました。世界中のライオンズが毎年無数の方法で夢を実現している姿を目の当たりにする時、心から頭の下がる思いがします。**私の励ましがより多くの熱意あるライオンズを行動に駆り立て、過去の功績を更に乗り越えて絶えず次なる夢へと向かわせたなら幸いです。**

会長としての任期が終わりに近付くにつれて、地域社会に奉仕するライオンズの夢と崇高な役割の重要性をますます強く実感するようになりました。私たちライオンズは通常とは異なる目的を持っています。世の中ではしばしば「自分優先」の考え方に出くわすものですが、ライオンズの王国では他者が優先されます。**私たちの世界では夢が現実になり、夢見る人々が皮肉屋、批判家、悲観論者に打ち勝ちます。**

私の最善のアドバイスは前進し続けることです。***ライオンズのやり方は1世紀近くも効果を発揮してきたものであり、その決して壊れないものに手を加える必要はありません。***しかしある種の用心として、常に前向きに考えるよう心掛けてほしいのです。考えは言葉になり、言葉は行動になり、行動は習慣になり、習慣は人格になり、人格は運命になります。従って、どうかその一つひとつに気を配るようにしてください。

識字率向上のためオーストラリアの学校で児童に読み聞かせを行うパーマー夫妻（写真／ダン・モリス）

妻のアンと私はどこを訪ねても、優しさと思いやりに迎えられました。私たちは皆さんのご厚情に深く感謝しています。いつまでも夢を追い続けましょう。そうすれば星空の彼方でまたお会いすることが出来るでしょう。たゆみなく奉仕する幸福に満たされたライオンとして。

2013-14年度国際会長
バリー・J・パーマー

THEME

炊き出しGP

今月のTHEME企画「炊き出しグランプリ」にエントリーしたのは、
北は北海道から南は四国まで12のライオンズクラブ。
クラブが大災害の被災地で振る舞った炊き出し料理の中から、
読者による「食べてみたい炊き出し料理」の投票で、
見事、グランプリに選ばれたのは……。

グランプリ

青森県・弘前東奥ライオンズクラブ

被災地に津軽の春の味を届けた トゲクリガニのカニ汁

取材／河村智子　写真／関根則夫

読者投票で最も多くの票を集めて栄えあるグランプリに輝いたのは、青森県・弘前東奥ライオンズクラブ（齋藤弘臣会長／114人）がエントリーした「青森の季節料理カニ汁」だ。

このカニ汁に使われるのは、陸奥湾で獲れるトゲクリガニ。桜のつぼみがほころび始める4月下旬に旬を迎えることから、「花見ガニ」とも呼ばれる。花見の宴席に欠かせない津軽の春の食材だ。

トゲクリガニはケガニの仲間。ケガニよりもやや小振りだが、カニ味噌の量が多く味が濃厚で、おいしいだしが取れる。カニ汁の作り方はいたって簡単。8ページにあるレシピの通り、水を沸かした鍋にぶつ切りのトゲクリガニを入れて煮て、味噌などの調味料で味付ける。それだけで、磯の香りとうま味たっぷりのカニ汁が完成する。

日本有数の桜の名所で毎年200万人余りが訪れる弘前さくらまつりでは、遠来の観光客にもその味を味わってもらおうと、弘前市旅館ホテル組合がカニ汁を振る舞う。春とはいえ桜の時期は冷え込むことが多い。おいしい上に、冷えた身体を温めてくれるカニ汁は、花見客に大好評だ。

東日本大震災の発生後、被災地支援に動き出したメンバーたちは、困難な避難生活を送る人々に、この温かいカニ汁を食べてもらいたいと考えた。誰もが被災地のために何かしなければという強い思いに駆られていた。

弘前東奥ライオンズクラブが岩手県山田町で炊き出しを行ったのは、震災発生から1カ月余りが経った2011年4月21日。ちょうどトゲクニガニのシーズンだ。千杯分ものカニ汁

炊き出しで活躍した旅館ホテル組合の大鍋は今年も弘前さくらまつりに登場。同じ広場でバザーを行う弘前東奥ライオンズクラブのメンバーに、炊き出しの様子を再現してもらった

を調理するために使ったのは、直径1・5メートルほどもある巨大な鍋。弘前市旅館ホテル組合がこの年のまつりに向けて新調し、2日前に出来上がったばかりのものだ。組合に所属するメンバーを通じてその鍋を借り出し、山田町へ運び込んだ。当日は昼食の時間に間に合わせようと、夜中の1時からおにぎり千個を握った。総勢20人の炊き出し部隊は早朝5時に弘前を出発して、車で4時間半かけて山田町へと向かった。

冷たい北風が吹き付ける寒さの中、もうもうと湯気を上げる大鍋から配ったカニ汁は、山田町の人たちだけでなく、救援活動に奔走していた自衛隊の隊員にも非常に喜ばれた。

被災地支援を機に改革が加速

炊き出しのように会員が被災地へ足を運んで活動することは、弘前東奥ライオンズクラブにとって初めての経験だった。被災地支援で中心的な役割を担ってきたライオン木村知紀は、炊き出しのアクティビティをきっかけに「クラブが目覚めた」と言う。

実は弘前東奥ライオンズクラブは、10年前からクラブ改革に取り組んでいた。目指したのは会員が汗を流して活発に活動するクラブだったが、それにはまず会員を増やさなければな

らない。若手や女性の増強に努めて、一時は32人に減少していた会員数を52人まで増やしたその頃、東日本大震災が発生した。炊き出しをしようと機運が高まった背景には、行動力のある若手会員の数が増えていたクラブ内の状況がある。

炊き出しを境に、クラブ改革はどんどん加速していった。その成果の一つはメンバーの団結が強まったこと。それまでにない活気が生まれて、被災地支援以外のアクティビティも活発になり、それが更なる会員の増加にもつながった。

まずクラブに加わったのは会員の夫人たちだった。山田町での炊き出しには会員の家族も参加して、大きな戦力になってくれた。それによって家族にライオンズのアクティビティに対する理解が高まり、もっと活動に参加しようという流れが生まれ、家族会員の入会へとつながっていった。河川の清掃事業など家族ぐるみで取り組む新たなアクティビティも計画するようになった。

被災地や地元地域での熱のこもったアクティビティは、しばしばメディアに取り上げられた。それが活動に参加したいという若い人たちを引きつけていく。今年1月にはそうした若い世代で白神支部が発足した。支部会員は、奉仕活動への熱意はあるものの会費がネックになって入会が難しかった20代から30代の16人。クラブは支部に独自の活動を促して、彼らを育てようとしている。

こうして、震災前の11年3月には52人だった会員は、今年5月末時点で114人になった。

「汗をかくアクティビティが我がクラブの得意分野。それには若い力が不可欠です。これからも若い人たち、ボランティアに興味のある人たちに気軽に参加してもらいたい」

と、齋藤会長はますます意欲を燃やしている。

全国に広がったネットワーク

炊き出しによるもう一つの成果は、被災地での活動を通じて他クラブとのネットワークが生まれたことだ。

鍋のサイズに合わせて他の調理道具も大きい。カニ汁をかき混ぜるのに使っている道具は大きな熊手

レシピ

【材料】（300人分）

水　180リットル
トゲクリガニ　50キロ
白味噌　10キロ
赤味噌　3キロ
みりん・酒・しょうゆ　各1.8リットル

［薬味］
長ネギ・一味唐辛子　適量

【作り方】

下準備：生のトゲクリガニを冷凍して、甲羅ごと適当な大きさに切る（冷凍することで切りやすくなる）

1. 鍋に水を沸かしてトゲクリガニを入れる
2. 沸いてきたら、みりん・酒・しょうゆを入れ、白味噌と赤味噌を溶かし入れる
3. 器に盛り、斜め細切りにした長ネギを乗せる。好みで一味唐辛子を振る

弘前東奥ライオンズクラブと白神支部は、弘前さくらまつり期間中にそれぞれ2日ずつ「絆の桜プロジェクト」資金獲得のバザーを開いた

山田町での炊き出しは、支援先について相談した同じ332・A地区の其田桂332複合地区議長（当時）が相原文忠332・B地区ガバナー（当時）に連絡を入れ、陸中山田ライオンズクラブのメンバーが日程や場所を手配して実現したものだった。それまでは何の縁も無かった両クラブが炊き出しを機に結び付き、弘前東奥ライオンズクラブは山田町での支援活動を継続していくことになる。

更に、炊き出しのリポート記事が東日本大震災を特集したライオン誌に掲載されると、同じく記事が載った福井県・鯖江王山ライオンズクラブの呼び掛けで、8クラブが参加する「緊急災害支援ネットワーク」が発足した。ネットワークの活動第1弾「サークル米」は弘前東奥ライオンズクラブの発案で、加盟クラブが提供した米を山田町の仮設住宅に配るというものだった。このネットワークを通じた情報交換が大きな刺激となり、クラブは山田町への支援だけでなく、各地で起こる災害支援に迅速に行動出来る体制も整えている。

クラブが今力を入れるのは、被災地に桜を植樹する「絆の桜プロジェクト」。他クラブとも連携して資金獲得事業を行いながら、弘前の桜が被災地で花開く日を夢見ている。

山田町で行った炊き出しでは会員の家族も活躍した（写真右）「サークル米」の活動に共に取り組んだ岩手県・石鳥谷ライオンズクラブ、陸中山田ライオンズクラブと開いた3クラブ合同例会には全員が「絆」Tシャツで出席（写真左）

準グランプリ

野菜いっぱいで心身共に温まるさぬきの打ち込みうどん

香川県・丸亀京極ライオンズクラブ

取材／井原一樹　写真／関根則夫

　準グランプリに選ばれた丸亀京極ライオンズクラブ（松原純一会長／73人）の打ち込みうどんは、香川県の郷土料理だ。元々は江戸時代頃から、田植えが終わった7月2日にごちそうとして食べられていた。ドジョウを入れ、夏バテ防止などの目的もあったという。ただ、近年はドジョウが減ってきたため、代わりに見た目が似ているナスと、鶏肉などを入れることが多い。野菜がふんだんに入っているため栄養価が高く、食べると身体が温まる。また、一遍に作ることが出来るので、炊き出しには非常に適した料理だ。

　丸亀京極ライオンズクラブが炊き出しを実施したのは2012年4月と13年11月の2回。どちらもこの打ち込みうどんとかけうどんを振る舞った。実施したのは宮城県亘理町の仮設住

打ち込みうどんは具だくさん。各種野菜に加え、かつてはドジョウも入っていた。今は代わりに見た目の似たナスを入れる。これもまたピリ辛の汁によく合うのだ

宅。丸亀市議会議員を務めるメンバーのライオン加藤正員が11年に亘理町で炊き出しを行った縁でクラブでも実施することになった。うどんと讃岐コーチン以外の具材は、支援の意味も込めて現地で購入した。

クラブが炊き出し実施の際に考えたことは、被災者との交流だ。震災直後の実施ではなかったため、被災者への心のケアの一端が担えれば、との思いがあった。そこで、うどんを食べ終わった後はライオン寺尾智恵子の奏でるハーモニカに合わせて歌を披露した。また、うどんを食べている被災者と会話をし、交流も図った。社会福祉協議会の開催するイベントの日だったため、あまり長い時間はいられなかったが、多くの人から「また来てください」と声を掛けられた。それが2回目の炊き出しにつながった。

1回目、2回目共にうどんを打ったのはライオン横関司。昨年閉店した「凡蔵」で長年うどんを打ってきた。1回目は550食を用意。その際、うどんは丸亀で打ち、切ったものを送った。だが、環境の違いから、硬さや味に変化が出ていたため、現地で最終的な手直しをする必要があった。そこで2回目は現地でうどんを打ち、切るようにした。また、解説をしながらうどん打ちを実演。テーブルの足が悪かったため、メンバーが動かないように押さえながらの実施だったが、好評だった。2回目もまたハーモニカと歌の披露、被災者との交流を実施。前回のことを覚えてくれている人も多く、より深く交流出来た。今後も何か災害があった時は今回のノウハウを生かし、炊き出しをするつもりだ。

レシピ

【材料】(50人分)

- 水 30リットル
- 打ち込み用うどん 5キロ
- 讃岐コーチン 4キロ
- 里芋 2.5キロ
- 大根 3本
- ニンジン 2キロ
- 干しシイタケ 150グラム
- ゴボウ 4本
- ナス 4キロ
- 白味噌、赤味噌 適量
- だしカツオ 500グラム
- 油揚げ 7枚
- 鷹の爪 10本
- 太ネギ 適量

【作り方】

1. 大きい平鍋に水を入れ火にかける。沸騰したら、だしカツオを入れだしをとる
2. 煮えにくい野菜と鶏肉を先に入れて煮る
3. 打ち込み用うどんと残りの野菜を入れ20分ぐらい煮込む
4. 合わせ味噌を入れ、調合だし(秘伝)で仕上げる
5. 太ネギを入れて火を止め、余熱で火を通す

炊き出しGP

真心込めた味自慢の炊き出し料理

惜しくもグランプリ、準グランプリ受賞は逃したものの、エントリーした10クラブの炊き出しメニューは、いずれも郷土色豊かでおいしそうな料理ばかり。東日本大震災を始めとする大災害の被災地に駆け付けて実施した炊き出しアクティビティの経験と、被災した方々の体と心を温めた料理のレシピを披露してもらう。

＊文中に明記のない場合は東日本大震災被災地での活動に関する記述です

大船渡漁港直送 マグロ丼

岩手県・大東岩手ライオンズクラブ

当クラブは沿岸から約20キロ内陸にあり、津波の影響はありませんでした。そこでひと山越えた沿岸部の人々に一食でも多く温かい食事を提供しようと、宮城県・気仙沼や岩手県の釜石、大槌、陸前高田などで炊き出しをスタートしました。

他団体とメニューがかぶらず、更に「うまい!」と言ってもらえるものを考案。震災20日後から2カ月に1度のペースで実施しています。これまでに、酢豚、麻婆ナス、八宝菜、タイ料理のフォー、ちらし寿司などを作りました。

震災半年後からはお年寄りの方々への娯楽提供のため、落語家さんに協力を依頼し寄席を開催。師走には餅をつき、お雑煮や鏡餅を作りました。1年経過後からは、東京・調布市にあるカフェ・レストラン、キックバックカフェの協力で、心のケアを含め、子どもたちを交えたゲーム大会やお笑い寄席+食事&カフェも提供しています。

炊き出しはこれまでに12回開催。今後も続けていく予定です。

(那須野俊章)

レシピ

炒りゴマをすり鉢で当たり、濃口しょうゆ、カツオだし、ワサビ、小口切りの万能ネギを合わせ特製タレを作る。マグロをやや薄めに切り、さっとタレと混ぜ合わせる。のりを散らしたご飯の上に盛り付け、万能ネギをあしらう。

北海道名物 味付きジンギスカン

北海道・美唄ライオンズクラブ

北海道ではジンギスカン焼肉にタレを付けながら食べる人は少数派。道内各地にある味付きジンギスカンですが、肉の産地、タレや調理法で味に大きな違いが出ます。もうもうと立ち込める煙もごちそうです。

2011年5月17日、中型バスに屋台設備と調理器具、羊肉180キロ、焼きそば500人前、美唄商工会議所寄贈の菓子パン3千袋を乗せて、宮城県石巻市に向けて会員10人で出発しました。被災地に入ってからは道無き道を進み、一昼夜かけて目的

レシピ

筒状の冷凍子羊肉を1〜1.5センチの厚さにカット。秘伝のタレ（タマネギ、ニンニク、リンゴ、大豆、小麦粉、調味料、しょうゆ、砂糖、蜂蜜等）に一昼夜以上漬け込む。網で焼いて食べる。

地に到着。18日の昼食に間に合うよう、早速準備に取り掛かりました。熱々の味付きジンギスカンを召し上がって頂き、被災地の皆様にはほんのひと時でもほっとする時間を提供出来たのではないかと思います。来て良かったと、大きな感動と喜びを頂きました。あの日の皆様の笑顔は今も脳裏に焼きついてます。

宮城県・大衡エコーライオンズクラブのライオン丑田陸男にはご自身も被災されながら、炊き出しの実現にお骨折り頂きました。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。（YCE教育・青少年育成委員長／古関充康）

仙台黒毛和牛バーベキュー

宮城県・仙台青葉ライオンズクラブ

名取市美田園仮設住宅には、仙台空港近辺で津波の被害に遭われた約250世帯の方々が生活しています。この仮設住宅で皿の絵付け教室を開いたところ、あるおばあさんが「お皿を作っても、一緒に食事する相手がいない（津波で亡くなったので）」とおっしゃいました。

そこで12年7月、「美田園みんなの夏祭り」を開催。カラオケ大会や、縁日の露店風に炊き出しを実施。仙台牛卸業を営む会員は、自ら被災しながらも仙台黒毛和牛200人前を提供してくれました。ドラム缶の上に網を載せ、炭火で豪快に焼き上げると、仮設住宅全体にいい香りが充満しました。他にもたこ焼き、焼きそば、ビール、おにぎりなどを提供し、ジャズバンドの演奏でお祭りを演出。晴天の下、みんなで飲んで歌い、震災以来地域の祭りが無くなっ

レシピ

上質な仙台黒毛和牛の肩ロースを焼肉用に厚めにカットし、炭火で焼き上げる。味付けは肉のうまみを生かす塩コショウ、または手作りの四川風秘伝タレ（しょうゆ、砂糖、ニンニク、オリーブオイル、みそ、蜂蜜、赤ワイン、ゴマ、香辛料等）。噛まずにとろけるおいしさ！

たという住民の皆さんから、「久しぶりのお祭りだ」と喜ばれました。

13年9月には秋祭りを開き、東京から落語家さんも応援に駆け付け盛り上げてくれました。「1年間待っていたよ」という住民の方の言葉に、仮設住宅がある限り祭りを続けようと、会員一同心に誓いました。被災地のクラブだからこそ分かる地域のニーズを捉え、本当に必要とされる奉仕活動をしていこうと思います。

（332‐C地区キャビネット副幹事／平嶋敬義）

しょうゆが香る山形内陸風芋煮

山形県・長井ライオンズクラブ

被災地支援のため芋煮会を計画し、まず市内の農園を借りて、県特産の里芋の栽培を始めました。2013年10月3日に芋を収穫。17日に、長井市と「あやめサミット」の縁で結ばれた宮城県多賀城市で、復興芋煮会を実施しました。12年10月の宮城県女川町、13年4月の宮城県名取市に次いで、当クラブでは3回目の被災地支援活動です。

秋晴れのこの日、芋煮会調理用具一式、長井産の里芋、米沢牛、マイタケ、ブドウ、リンゴなどと、長井市から提供頂いた「長井の水」ペットボトルを車に積みこみ、午前6時半出発。車中で10月第2例会を開催し、現地には9時に到着。開会のあいさつの後、メンバーは早速芋の皮むきと会場の準備を開始しました。

芋煮の調理はお手のもの。作業は手際よく進み大鍋に芋煮が完成しました。たくさん作って何度もお代わりをするのが山形流です。余興には語り部として活躍する当クラブのライオン鈴木富美子が「山形の民話」を語り、大きな拍手が沸きました。

後日、参加された方が「芋煮のおいしかったこと、本当にありがたくうれしかった」と新聞に投稿してくださって、とても感激しました。

（IT・広報委員長／石塚虎雄）

レシピ

一口大に切った里芋とちぎったコンニャク、ささがきゴボウを水に入れ強火で加熱。煮立ったら火を弱めて酒と砂糖を加え、芋が柔らかくなるまで煮る。あくを除いた後、しょうゆ、塩などで味付け。仕上げにキノコ、長ネギ、牛肉を加える。甘めの味付けで煮汁たっぷり、牛肉を煮過ぎないように。

ふるさとの味 山形名物芋煮

山形県・天童舞鶴ライオンズクラブ

震災発生後、姉妹クラブの宮城県・利府ライオンズクラブと連絡がつかなくなり、クラブで話し合い炊き出しに行くことにしました。

3月15日、炊き出しの食材の他、ガソリン、飲料水、会員提供の米、パンなどを軽トラックとワゴン車に積み込み、利府方面を目指して出発しました。宮城県塩釜市内に入ると、曲がった電柱や、地割れの光景などが目に入ってきました。ここでようやく利府ライオンズクラブのライオン鈴木俊一（13年度332‐C地区第1副地区ガバナー）と電話が通じて、ライオン鈴木の奥様が経営するおそば屋さんの前で、炊き出しを行うことになりました。

テントを設営し、かまどに火をおこし、町内会等を通じて炊き出しを案内しました。夕方暗くなってきた頃に芋煮が完成。小雨が降る寒い中、多くの皆様に温かい芋煮を召し上がって頂きました。

夜遅くなった帰りの車中では、今回の活動ではわずかな支援しか出来なかったという思いや反省が頭の中を巡り、皆同じ気持ちなのか、疲れ果てたのか終始無言でした。（332複合地区IT委員長／寒河江潤一）

レシピ

鍋に水を入れ、あくをすくい取りながら里芋をゆでる。ささがきゴボウ、一口大にちぎった白コンニャク、シメジを加える。牛肉を入れしょうゆ、酒、砂糖で味付けする。里芋が柔らかくなったら長ネギを入れ、火が通ったら完成。

生産量日本一の栗を使った栗おこわ

茨城県・友部ライオンズクラブ

通常、当クラブがある笠間市から福島県相馬市へは約2時間の道のりですが、今は原発事故の影響で迂回するため4～5時間掛かります。更に炊き出しを行ったのが12月ということもあり、雪と道路の凍結にも苦労しました。

しかし、相馬の皆さんが温かく迎えてくださり、栗おこわの盛り付けや配布、また同日に行った石臼での餅つきを、率先して手伝ってくださいました。つきたての餅はネギしょうゆ、きな粉、あんこ、雑煮でお召し上がり頂きました。

私たちは少しでも被災された皆さんの励ましになればという思いから炊き出しを行ったのですが、逆にたくさんの元気をもらうことになりました。

相馬市の復旧復興には、福島原発事故の早期収束が最大の鍵になると思います。皆様が早く元通りの生活に戻れますようお祈り致します。

（幹事／石井巧一）

レシピ

栗は拾ってすぐ鬼皮と渋皮をむき、薄い塩水に漬けあくを取り冷凍。餅米は前々日から水につけておく。ぬれ布巾を敷いたせいろに、水切りした餅米の3分の2を入れ、水に浸け解凍した栗、残りの米の順に重ね、布巾で包みふたをする。釜に蒸気が上がったらセイロを乗せる。蒸し上がったらボールにあけ、うちわであおぎながら混ぜる。器に盛りゴマ塩を振る。味付けに調味料などは使わず素材の味を楽しむ。

4週間続けた炊き出しの豚汁

新潟県・柏崎日本海ライオンズクラブ

2004年10月23日、最大震度7の新潟県中越地震が発生。柏崎市も震度5弱の大きな揺れに見舞われましたが、被害は少なくて済みました。一方、隣接する小千谷市の被害は大きく、3千人以上が避難所生活を送っていました。

当クラブは避難所となった小千谷市の総合体育館前で、10月28日から毎日、昼食の炊き出しを行いました。しかし単独クラブで活動を継続していくことは厳しく、柏崎、柏崎米山の両ライオンズクラブにも協力を求め、31日からは3クラブの合同事業となりました。1日900食（豚汁、うどん、そばを各300食）の提供が目安です。

合同事業は11月9日をもって終了しましたが、他団体の炊き出しが減少していたこともあり、再び当クラブ単独で再開し、11月20日まで継続しました。

この活動では会員を中心に家族、友人、社員ら延べ163人が978時間の奉仕を行い、多数の食材メー

カーを始め、企業、団体、個人から支援を受けました。

年末には柏崎地域の仮設住宅に入居する方々へ切り餅とミカンを配布しました。これらの支援物資は、千葉県・船橋さざんかライオンズクラブからの義援金で購入したものです。寒さ厳しい中、仮設住宅で新年を迎える方々に少しでも元気になって頂きたいと、励ましの声を掛けながら配りました。

（幹事／斎藤祐二）

レシピ

ジャガイモとニンジン、つきコンニャク（または板コンニャク）、ゴボウ、豚バラ肉を大鍋で煮込む。仕上げに越後の味噌で味付けする。

富山名産 白エビのかき揚げうどん

富山県・となみセントラル ライオンズクラブ

2013年3月30日、宮城県石巻市内の三反走（さんだんばしり）仮設住宅集会所で炊き出しを実施しました。富山から石巻までは車で8時間。当日夕方から炊き出しの予定だったので、時間の都合でかき揚げは富山で揚げて持参しました。シロエビかき揚げうどんは200食を提供。地元の味の好みを配慮し、だしつゆは宮城県・石巻中央ライオンズクラブに用意して頂きました。また、砺波市の小学生の応援メッセージの入った富山県産コシヒカリ米5キロ200袋を、仮設住宅全戸に配りました。

炊き出し実施の日は、災害復旧工事用トラックの走行により三陸自動車道が渋滞し、到着が予定より1時間程度遅くなりました。仮設住宅の皆さんをお待たせしてしまい、冷や汗をかきました。集会所には小さなお子さんからご高齢の方まで多くの方が食べに来てくださり、大変なにぎわいでした。提供と後片付けを終え、やれやれとバスに戻ると、お礼のメッセージが車内に貼り出されていて、うれしさで疲れも吹き飛びました。バスが出発する時にも、大勢の人が見えなくなるまで手を振って見送ってくださいました。

この炊き出しでは石巻中央ライオンズクラブの皆さんに大変ご協力頂きました。お礼申し上げます。

（幹事／下保正信）

レシピ

富山湾の宝石と呼ばれるシロエビをてんぷら衣にくぐらせ、白絞油で揚げる。型崩れを防ぐため、揚げた後30分程置き粗熱を取る。ゆでたうどんにだしを注いで天ぷらを乗せ、富山県産白ネギと伝統の赤巻かまぼこを添える。

明石の名物 玉子焼き

兵庫県・明石魚住ライオンズクラブ

1995年、阪神淡路大震災時のうどん3千食が初めての炊き出しです。被災者の方々へうどんを渡す時、涙を流し我々に手を合わせ頭を下げて「ありがとう」とおっしゃる方もおられ、全員泣きながら作業しました。夜遅く片付け中に老夫婦がいらして、既に材料が何も無く、提供出来なかった時の悔しさ情けなさは忘れることは出来ません。

04年の新潟県中越地震では長岡市でうどん千食を炊き出し。避難されているご夫婦から「どちらから?」と聞かれ、「神戸から」と答えると、奥様が「当時私たちは神戸の方に何もしませんでしたのに。お父さん、避難所で甘えていてはいけない、家に帰って片付けましょう」とおっしゃいました。

東日本大震災後、福島県新地町では用意した焼き魚を食べながら「家もねえ、船もねえ、家族も流された。あれから初めて魚を食った」と大泣きする方がいらっしゃいました。

当クラブの炊き出しでは、必要人数分の最低2倍を用意します。実施回数は14回になりました。

（幹事／橋本維久夫）

レシピ

明石焼き用粉1キロ、北海道産昆布のだし6リットル、卵40個を混ぜ合わせる。焼き型に流し入れ、明石産タコを入れ焼く。一般的なたこ焼きより柔らかく、具はタコだけなのが明石名物玉子焼きの特徴。

7点盛り 海鮮ささえ愛丼

香川県・多度津ライオンズクラブ

東日本大震災の被害実態が分かってくると、私たちはライオンズとして何が出来るのか検討を始めました。すぐに義援金を送りましたが、現地で活動して、被災した方々を元気付けたいという意見が出ました。

報道で、被災した方々は食事をほとんどとっていないか、菓子パンやおにぎりなど簡単なものしか食べていないことが分かりました。何かおいしいものをと考え、お刺身がいっぱい乗った海鮮丼の炊き出しをしようということになりました。

会員はもちろん、多度津町民の皆さんからも支援金を募り、地元で活躍する落語家や香川県出身の歌手によるチャリティー・イベントを催して、3千食分の資金を確保しました。

震災後いち早く東北でボランティア活動を始めた少林寺拳法の本部が多度津町にあり、その代表がライオンズ会員だったことから、同団体の宮城県支部に十数人の宿泊を受け入れて頂くことが出来ました。ここが6月6～8日に実施した炊き出しの活動拠点となりました。

2カ月後にも支援活動を実施。述べ11カ所の避難所や仮設住宅、在宅の方々の集会場所などで、約450食の炊き出しを行い、シーツ、タオル、歯ブラシなどの物資を提供しました。

（会員委員長／新田正徳）

レシピ

炊きたてごはんに新鮮なマグロ、タイ、タコ、イカ、甘エビ、イクラと卵焼きを盛り付け、彩りのインゲンと金糸卵をトッピング。サビ、ガリ、しょうゆを添える。魚介は切り身にして冷凍。移動中は冷蔵庫で保管し現地で解凍した。

2014-15年度
地区ガバナー紹介

第97回トロント国際大会で地区ガバナーに就任される各地区ガバナー・エレクトの皆さんに、新年度に向けての抱負、方針、重点目標などについて原稿を頂いた。

略歴①所属クラブ②ライオンズクラブ入会年③副地区ガバナー立候補要件のうち最上位の役職④職業⑤趣味⑥就任時の年齢

District 330-C　松原　一郎

まつばら　いちろう①埼玉県・上尾中央ライオンズクラブ②85年③06年度ゾーン・チェアパーソン④㈱エムエスデー代表取締役⑤スポーツ観戦⑥67歳

現在のライオンズクラブが抱える課題である、会員減少を会員増加へと転換し、「楽しく奉仕をするライオンズクラブ」を目指してまいります。

そのために、キャビネット事務局の固定化、クラブ合同事務局の推進を実施、「運営費の削減～会費の減額～入会者の増加」というサイクルを作り、回していきたいと考えております。

そして、全てのクラブがゴールドクラブとなるよう、女性会員の増強と次世代のライオンズを担う若手メンバーの発掘と育成に注力してまいります。

District 330-A　塩月藤太郎

しおつき　とうたろう①東京田無ライオンズクラブ②85年③10年度リジョン・チェアパーソン④㈱塩月産業代表取締役⑤ゴルフ、絵画、旅行⑥73歳

昨年のハンブルク国際大会で、山田實紘国際第2副会長が誕生され、その第一声で日本ライオンズ会員倍増計画を発表されました。私はこの計画を実現するため、会員増強委員会の委員を今までの10倍に増やし、会員維持の啓発活動と共に徹底して取り組んでいきます。他には東北復興支援の継続、東京オリンピック・パラリンピック支援活動、薬物乱用防止と青少年の健全育成活動などにも取り組みます。ガバナー・スローガンは「夢・希望・感動」とし、メンバー一丸となって若い世代にバトンを渡せる運営をしていきます。

District 331-A　三澤　聖一

みさわ　せいいち①北海道・札幌新星ライオンズクラブ②84年③05年度ゾーン・チェアパーソン④㈱セリオむすめや代表取締役⑤ゴルフ、ドライブ、音楽鑑賞⑥63歳

今、ライオンズクラブは転換点にあると感じています。私が入会した30年前と比べ、会員数は国により増減の差が激しく、バランスを欠いています。また、奉仕活動では視力保護に関わる事業から、国の将来を担う子どもへのサポートへシフトチェンジしているように思います。

私のスローガン「新たなる未来への継続」はこのような時代変化に対応した活動を行い、健全なクラブ運営を目指し、次期へと引き継いでいくことを使命とします。ゆっくりでも常に前進する気構えでこの変化を捉えてまいります。

District 330-B　安達　成功

あだち　しげのり①神奈川県・川崎南ライオンズクラブ②76年③09年度リジョン・チェアパーソン④㈱美幸軒代表取締役社長⑤絵画、旅行、読書、ゴルフ、カラオケ⑥73歳

当地区を含め多くの準地区で一般正会員の退会者が多くいます。退会理由を考えたところ、自分のクラブに誇りを持てないこと（例会の形骸化、一部のメンバーによる奉仕活動、メンバー間の不協和）があると思いました。そこで私はテーマを『感謝の奉仕』明るく（メンバーが）楽しく（クラブが）元気よく（奉仕活動を）」としました。クラブが発展継続する起点は、メンバー間の「感謝と信頼」の上にあります。ここに焦点を当て「仲の良いクラブ」からライオンズの活性化を目指し、当地区の発展に1年間尽力してまいります。

District 331-B　山田　正昭

やまだ　まさあき①北海道・釧路ぬさまいライオンズクラブ②84年③03年度キャビネット幹事④㈱松立鋼機取締役会長⑤ゴルフ、読書、旅行⑥75歳

スローガンを「輝こうライオンズ　未来に向けて」としました。ライオンズクラブにとって、会員増強は永遠の課題であり、2年目の日本向け家族会員パイロット・プログラムを中心に、会員増強に全力を傾注してまいります。同時に会員がお互い切磋琢磨し、クラブの活性化を図り、更に地域に貢献出来る質の高い奉仕活動を目指します。

ライオンズの誇りと「We Serve」の精神、新しいことに真剣にチャレンジする勇気を持ち、会員それぞれが「輝く未来」を創り出し、心を一つに力強く前進出来るような運営をしていきます。

District 331-C　松浦　則雄

まつうら　のりお①北海道・函館北斗ライオンズクラブ②88年③11年度ゾーン・チェアパーソン④エコー保険㈱会長⑤読書、音楽鑑賞⑥65歳

「今こそ『原点回帰』。心を一つに動いてみませんか！」がスローガンです。ライオンズクラブ最大の使命であるモットー「ウィ・サーブ」の原点に戻り、地域住民から真に喜んでもらえる奉仕活動を実行するためにも、会員増強が喫緊の課題です。この基本的な理念を準地区全てのクラブに情宣し、メンバーの心を一つにして、活力ある地区運営を実現することが、ガバナーの重要なミッションだと思います。間もなく1世紀を迎えるライオンズクラブが永続出来る、盤石な組織運営に貢献するために、誠心誠意全力投球する所存です。

District 332-A　花田　良一

はなだ　りょういち①青森県・弘前チェリー ライオンズクラブ②81年③02年度ゾーン・チェアパーソン④㈲華貴屋取締役会長⑤ゴルフ、ドライブ⑥66歳

スローガンを「輝け大きな『輪』の心でWe Serve」としました。私は失明の減少に力を入れていきます。特に眼鏡リサイクル事業に注力します。小児失明症回復に取り組み、視力を取り戻した子どもたちの明るい笑顔を見たいと思っています。これにはライオンズのグローバル・ネットワーク、大きな「輪」が必要です。そして「誘ってみよう！」をテーマに新会員、女性会員、家族会員を勧誘し、クラブを効果的に発展させる会員増強を実現します。当地区でこの一年間、一人でも多くの会員を増やせるよう精進してまいります。

District 332-B　吉田　昭夫

よしだ　あきお①岩手県・盛岡中津川ライオンズクラブ②94年③08年度ゾーン・チェアパーソン④㈱吉田測量設計代表取締役会長⑤ゴルフ⑥80歳

東日本大震災発生から4年目。LCIFからの多大な大災害援助金等、皆様からの温かいご支援の下、一日も早い復興に一生懸命です。復興には将来を担う青少年の健全育成が必須です。そこで私のアクティビティ・スローガンを「デッカイ感動！デッカイ夢！デッカイ未来！青少年健全育成」とし、青少年のロマンや夢を手助けすることを目標に掲げました。ライオンズ100周年を控えてもなお、ライオニズムやモットーは不変です。「舟に刻みて剣を求む」の如く、時代に合ったクラブ運営の在り方を模索していきます。

District 332-C　鈴木　俊一

すずき　しゅんいち①宮城県・利府ライオンズクラブ②94年③07年度リジョン・チェアパーソン④キコウエンジニアリング㈱取締役会長⑤伝統工芸美術品鑑賞、日本刀鑑賞、家庭菜園⑥72歳

東日本大震災から3年を過ぎた今も、まだ復興は見えておりません。特に被災された多くの方々への「こころのケア」をテーマとし、全世界、全日本のベクトルを一つにしたライオンズクラブの支援を継続して行かなければならないと考え、実行し発信してまいります。同時にクラブを一層強化し、絆を更に強めます。老・壮・青・女性会員の良きバランスを構築し、家族・地域に住む市民の皆さんとの普遍的な相互理解を高めるようなライオンズクラブの向上・変革について提言し実践してまいります。

District 332-D　渡邉　豊

わたなべ　ゆたか①福島中央ライオンズクラブ②89年③08年度ゾーン・チェアパーソン④㈱ザ・ホテル大亀代表取締役社長⑤ゴルフ、エレキバンド⑥65歳

いつの時も「ウィ・サーブ」の精神は基本理念です。当地区では東日本大震災支援を中心に奉仕活動を続けてきました。LCIFや全国の単一クラブからの支援も忘れません。この場をお借りして心より感謝申し上げます。ガバナー・テーマを「光り輝く未来の福島真心奉仕」とし、アクティビティ・スローガンを「誓い合う奉仕の心いつまでも」としました。福島県は放射能汚染問題を抱えています。何をすべきか地区一丸となって取り組み、災害に対するアラート（危機管理）を充実させてまいります。ご支援ご協力をお願いします。

District 332-E　堤　孝雄

つつみ　たかお①山形霞城ライオンズクラブ②80年入会③11年度ゾーン・チェアパーソン④㈱堤商店・堤産業㈲代表取締役⑤旅行⑥73歳

少子高齢化社会が喧伝される中、当山形県も前年比0・9％の人口減と報じられています。ライオンズクラブの永遠のテーマである「我々は奉仕する」をどう進めていくかが、社会の一員としても重要な課題と考え、アクティビティ・スローガンを「和と輪で拡げよう奉仕の絆」と致しました。山田實紘国際第1副会長の提唱する家族会員を始め、幅広い層からの会員募集強化は、今後の運営に重要なことと思われます。地区内の各クラブが充実した運営をし、地区運営の基盤となることを願っております。

District 332-F　稲岡　敬弘

いなおか　けいこう①秋田ライオンズ②96年③08年度ゾーン・チェアパーソン④宗教法人光明寺住職⑤コンピューター全般、ボウリング⑥61歳

今年度のガバナー・テーマは、「チェンジそしてチャレンジ」です。当地区の現状は、家族会員に支えられ、辛うじて1250人を維持している状況です。このままではますます衰退していってしまいます。少子高齢化率、自殺率、がん死亡率どれをとっても全国1位、というように気持ちが暗くなるような状態がここ何年間も続いておりますが、ライオンズクラブから県民に対して元気を発信していきたいと考えています。この一年、マンネリ化の打破と意識改革を進め、飛躍のきっかけになることが出来れば幸いです。

District 333-A　渡邉　信也

わたなべ　のぶや①新潟県・亀田ライオンズ②91年③11年度ゾーン・チェアパーソン④医療法人愛仁会理事長⑤音楽鑑賞、へぼ囲碁、へぼゴルフ⑥71歳

私たちの使命は奉仕活動です。地域の人たちが本当に望むことを探し出し、クラブ員全員で真剣に語り合い、心を一つにして同じ方向を向いて、しかも誇りを持って楽しく奉仕活動を行わなければなりません。そこでスローガンを「集まろう　心は一つ　価値ある　楽しい奉仕」と致しました。ガバナーとしての使命は、伝統をしっかり守りながら、時代にふさわしいライオンズクラブを創造することだと思っています。今期は、各クラブが地域のニーズを見つけ、新しい奉仕活動を一つずつやってほしいと思っています。

District 333-B　小倉　康延

おぐら　やすのぶ①栃木県・下野ライオンズ②86年③99年度ゾーン・チェアパーソン④学校法人愛泉学園園長⑤釣り、ツーリング⑥62歳

スローガンを「一人一人を大切に　勇気、決断、和の心で」としました。クラブもキャビネットも、一人ひとりが集まって大きな力になります。誰もが主役で、活動の中心であることを再認識すると共に、新たなことにチャレンジする勇気、決断、そして思いやりの心を大切に活動することを柱にしました。更に地域での認知度を上げましょう！小さなクラブでも、大きなアクティビティをしていること、国際的な組織であることを地域にPRして、理解を得ましょう。大きな心で楽しいキャビネットになれるよう一丸となって努力します。

District 333-C　波木　奏美

はき　むつみ①千葉ゆうきのライオンズ②86年③09年度リジョン・チェアパーソン④波木医院事務室長⑤日本舞踊、茶道（表千家）、手芸⑥70歳

他地区のライオンに「333-C地区は女性ライオンがどの研修会にも多く参加していますね」とよく言われます。確かに700人（家族会員を含む）近い女性会員を擁し、おのおののクラブで皆さんご活躍中です。私も女性ガバナーとしてますます女性会員増強と彼女たちのパワー全開を願わずにはいられません。また今期もクラブのアクティビティの活性化を目指し、奉仕活動に誇りを持てるよう工夫したいと考えています。更に青少年の健全育成は私のライフワークとして、何があろうとも努力をし続ける覚悟でございます。

District 333-D　松本　元良

まつもと　もとよし①群馬県・伊勢崎佐波ライオンズ②88年③11年度リジョン・チェアパーソン④㈲松坂食品代表取締役⑤旅行、ウォーキング⑥63歳

スローガンを「出会いに感謝」としました。今、クラブに入会しているのも、スポンサーとの出会いのおかげです。現在クラブの一員として奉仕活動をさせて頂いていることに対し、感謝しなければならないと思っています。アクティビティ・スローガンを「優しさと心に窓を」としました。優しい心で相手に接すれば会員増強もスムーズにいくと思います。また、奉仕活動もそのスローガンの気持ちで行えば成功裏に終了すると思います。今年度の国際会長テーマ「誇りを高める」を伝達し、すばらしい地区活動を行いたいと思います。

District 333-E　大祢　廣伸

おおね　ひろのぶ①茨城県・土浦ライオンズ②89年③11年度ゾーン・チェアパーソン④中央大祢整形形成外科院長⑤剣道、居合道、馬術⑥66歳

私は『ライオンズ・ヒム』が大好きです。特に3番の歌詞「命と名誉と富かけて」に感動を覚えます。そこでスローガンを「生かせ　いのち」としました。総本山金剛峯寺座主、高野山真言宗管長を歴任された医学部先輩阿部野竜正は、『生かせ　いのち』を出版しました。「いのち」は生命を含め、技術、経験、社会的地位、財産など全てを指します。人生の目的は自分を生かすことです。他人を生かしてこそ、自分が生かされます。見返りを求めない社会奉仕は、まさに自分を生かすことそのものです。この心で1年間がんばります。

District 334-A　加藤助太郎

かとう　すけたろう①愛知県・豊田ルネッサンス ライオンズクラブ②91年③05年度キャビネット幹事④加藤産業㈱代表取締役⑤ゴルフ、車⑥67歳

スローガンは「もういちど　ウィサーブ」としました。奉仕の輪を大きく広げ、強化をするためにも、ライオンズクラブの会員倍増に向けてこの一年間行動していきます。

それと共に、クラブ運営・事業資金の獲得等についてもう一度原点に返って考え、もっと多くの会員やサポートして頂ける人々を取り込んでいくよう行動していきたいと思っています。

日本から史上2人目の国際会長となるライオン山田實紘が所属する334複合地区として、最大限の協力をするため一生懸命行動してまいります。

District 334-B　北野　茂樹

きたの　しげき①岐阜県・大垣ライオンズクラブ②77年③09年度ゾーン・チェアパーソン④金蝶園総本家㈾会長⑤ウォーキング⑥73歳

東日本大震災発生から3年が経過しました。国内や、世界各地から多くの支援がありました。

ライオンズクラブの原点は「Ｗｅ　Ｓｅｒｖｅ」であり、ボランティア活動こそがウィ・サーブであると思います。そこで今年の地区スローガンを「『元気一番』明るい笑顔でＷｅ　Ｓｅｒｖｅ」と致しました。ライオンズクラブの一員として、いつも人に優しい心遣いと親切心を持って、人の心を元気にし、明るい笑顔でアクティビティを行っていきたいと思いますし、そんな地区運営をしていきたいと思っています。

District 334-C　佛井　正夫

ぶつい　まさお①静岡県・清水日本平ライオンズクラブ②85年③01年度リジョン・チェアパーソン④三和商事㈱代表取締役⑤旅行、ゴルフ⑥73歳

プレストン新国際会長のテーマは「誇りを高める」です。今、地域社会の中でライオンズクラブのステータスは低下しています。私は威信を取り戻すため、今一度地域に夢と希望、そして明るい光を与えるライオンズ本来の姿にしなければと思っています。私のスローガン「〝感謝〟――強い絆で確かな奉仕」の通り、私達は常に奉仕をさせて頂く側にあることに感謝し、固い絆の下に結束を強くして、求められる奉仕を捉え、誇りを持って、地域や世界の必要とされる所に的確な奉仕活動を実施していく覚悟です。

District 334-D　藏　大介

くら　だいすけ①石川県・金沢伏見ライオンズクラブ②96年③10年度ゾーン・チェアパーソン④藏大介法律事務所所長⑤ゴルフ、散歩⑥57歳

スローガンは「ひろめよう　真心の奉仕」としました。「ひろめる」という言葉は、全体に広く行き渡らせて知られるようにすることを意味します。今年度はライオンズの社会奉仕活動を地域社会に広く行き渡らせて、クラブが社会において担っている役割を地域住民に広く知らせることを強調したいと考えています。我々クラブのメンバーが日々行っている真心の奉仕を、地域社会に普及させることがライオンクラブの存在意義を高め、メンバーの意識を高揚させ、その結果、クラブの活性化、会員増強に資すると考えています。

District 334-E　笠原　文武

かさはら　ふみたけ①長野県・諏訪湖ライオンズクラブ②85年③06年度ゾーン・チェアパーソン④湖柳歯科医院院長⑤写真、旅行、花作り⑥75歳

スローガンを「相手を想う至誠の奉仕」としました。全てが三次元的に著しく変化する中で、従来通りの奉仕活動が相手にとって本当に良いのか一度検証してみたい。私のキーワードは「改革と挑戦」です。皆さんには今までの流れにただ沿うのではなく、必要と思ったら変える勇気を持ち、それにチャレンジしてほしいと思います。閉塞しがちな継続事業、例会、各委員会等、一年の任期終了時に少しでも達成感が残れば幸いです。馬齢を重ねただけの私ですが、多くの皆さんのご協力の下、誠心誠意この任を全うしたいと思います。

District 335-A　岸田　衛幸

きしだ　もりよし①兵庫県・そのだライオンズクラブ②88年③02年度ゾーン・チェアパーソン④03年度キャビネット幹事④関西パトロール㈱代表取締役会長⑤旅行⑥65歳

1952年に日本にライオンズが結成され、以来62年、実績と知名度を上げ社会に貢献してきた。しかし残念ながら近年、クラブの組織形態が根幹から崩れ始めてきている危機感がある。これには幾つか要因となる問題点があり、「意識」や「構造」、「考動」的大改革などが必要だと思う。逆境下にある今、原点に戻り再生することが急務だ。そのためには地域社会で行政や諸団体との新時代の連携が必要だ。これを重要課題とし、地区内全員での総力戦で、良い伝統を守りつつ大改革から改新へとクラブ組織の強化を進める所存だ。

District 335-B 北畑 英樹

きたはた ひでき①大阪府・八尾菊花ライオンズクラブ②79年③05年度リジョン・チェアパーソン④医療法人弘生会理事長⑤読書、落語、ゴルフ⑥70歳

「We Serve」こそが我々ライオンズクラブのモットーであり使命です。奉仕活動を通じて築かれた同志としての友愛、そしてメンバーとしての誇り、これらが地区の発展・充実の基盤であると考え、地区ガバナー・スローガンを「奉仕 友愛 L字の誇り」としました。真摯に我々の原点に戻りたいと考えています。また「ライオンよ、街に出よう!」をキーワードに他団体や地域住民との連携を図り、市民に顔の見える奉仕活動を展開することで、ライオンズクラブの存在感を高め、会員の増強につなげたいと考えています。

District 335-C 森井 士朗

もりい しろう①京都洛東ライオンズクラブ②82年③09年度リジョン・チェアパーソン④㈱たづアート取締役会長⑤旅行、ゴルフ⑥72歳

当地区は60年という節目を迎え、また新たな一歩を踏み出しました。先人の皆様が残した奉仕の精神をしっかりと受け継ぎ、今こそ原点に立ち戻り、確実に未来へとつなげていかなくてはなりません。築き上げてきた地域との信頼感に誇りを持ち、みんなが主人公であることを自覚して、ますます目に見えるアクティビティに邁進していかなければなりません。イチョウ並木のように、どの街頭にも必ず存在するような地域の人々と共生出来る、愛される奉仕団体であり続けるべく日々挑戦していく所存でございます。

District 335-D 小暮 敏郎

こぐれ としろう①兵庫県・姫路白鷺ライオンズクラブ②87年③03年度キャビネット幹事④㈱ICS代表取締役⑤城探訪⑥64歳

ライオンズクラブは新時代に入っています。「We Serve」「International」の2点を不変不滅の共通認識として、改革ではなく再構築が必要と考えています。組織は時代の推移に対処出来る柔軟性が不可欠です。テーマを「原点回帰と革新」として資質の向上、華美で形式的なものや必要性の薄い会議等は排除し合理的な革新を目指します。当地区から43年振りに国際理事が就任されます。ご指導を賜わり、国際会長テーマ「誇りを高める」を実現し、地区に貢献出来るよう全力で取り組みます。

District 336-A 木内 千春

きのうち ちはる①徳島県・板野ライオンズクラブ②77年③99年度リジョン・チェアパーソン④㈲東條文明堂代表取締役⑤音楽鑑賞⑥78歳

「新たな気持」。336-A地区も60年を過ぎました。今年は、白紙に返ってライオニズムを見直す年と考えます。会員増強も新しい考え方が出ました。個人で支えてきたライオンズを家族で支えようというビジョンを共有し、前進していく年にしたいものです。クラブこそがライオンズの力です。自主性とバラエティーに富むクラブ活動こそが100年を迎えるライオンズの目指すものです。今期国際会長のスローガンは「誇りを高める」です。プライドを持ってライオニズムを邁進してまいります。―新たな気持ちでWe Serve―

District 336-B 別所 清平

べっしょ きよたか①鳥取県・米子ライオンズクラブ②81年③11年度リジョン・チェアパーソン④みずほ米穀㈱代表取締役⑤読書、朗読⑥73歳

スローガンは「品格ある 奉仕の道」としました。伝統的奉仕事業を黙々とこなし、次代へと引き継ぐ熱い心。日本人が秘めている「サムライの道」です。基本方針は三つ。一つ目はクラブの存続を真剣に考えること。国際協会のプログラムをクラブ存続の選択肢の一つとすることが肝要です。二つ目は女性フォーラム特別委員会の設置です。女性目線でクラブ増強の道筋を見いだしてもらいたいです。三つ目は環境憲章を重視すること。環境保全活動を重点事業とし、各クラブには既存の事業のブラッシュアップをお願いします。

District 336-C 松尾 敏弘

まつお としひろ①広島県・福山中央ライオンズクラブ②82年③05年度ゾーン・チェアパーソン④松尾地所㈱代表取締役会長⑤読書、古美術鑑賞と収集⑥75歳

スローガンは「『原点から再出発』We Serve―改革への挑戦―」としました。各クラブは結成当時の思いを原点に活動し、会員増強と退会防止に重点を置き、融和と相互理解のある運営をしています。今期は国際協会の目的、ライオンズ道徳綱領を順守するため、資質向上のセミナーを開催、地区内の諸問題の「改革への挑戦」をガバナー・チームにより継続的に実施するなどの地区運営をします。また、クラブの質向上と次世代の若手リーダー育成を推進し、ライオンズの発展のため、皆様と共に「再出発」致しましょう。

District 336-D 竹下 雅雄

たけした まさお①山口県・萩ライオンズクラブ②81年③05年度ゾーン・チェアパーソン④㈱タケシタ取締役会長⑤船釣り⑥70歳

地方のライオンズクラブは大きな曲がり角に来ていると思います。クラブ数・会員数の激減、更に在籍者の高齢化によりクラブ運営はもとよりキャビネット運営も難しくなってきました。合理化の努力をしても厳しくなるばかりです。思い切った改革をしなければ……と思っております。

スローガンは「寛容の心でウィーサーブ」としました。我々がもう少し寛容になれば、世の中もクラブももっと優しく楽しくなると思います。優しく緩やかに暮らせるのが田舎の特権と思っています。

District 337-C 大石 隆敬

おおいし りゅうけい①佐賀県・武雄ライオンズクラブ②81年③97年度ゾーン・チェアパーソン④三間坂幼稚園園長⑤ゴルフ、ドライブ⑥71歳

ガバナー提言を「和と輪」とし、「ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために奉仕のまこと」をお願いしました。一人の力では大変微力でありますので、「数は力なり」と「継続は力なり」をモットーに仲間を増やし、個々のすばらしいお知恵とお力を発揮して頂くように努力してまいります。

平和な地球を目指して、勇気と友愛の精神を子どもたちへ伝え、世界へ羽ばたく未来を背負う子どもたちの健全育成のため、レオクラブの活性化とYCEの推進を力強く進めていく所存です。

District 337-A 桑田 貞治

くわた さだはる①福岡県・久留米りんどうライオンズクラブ②80年③05年度ゾーン・チェアパーソン④フソーシステム㈱代表取締役会長⑤野球、ゴルフ、旅行⑥77歳

スローガンを「明日へ」、アクティビティ・スローガンを「ライオニズムの深化今こそ」としました。運営方針として「ライオンズが明日への第一歩を踏み出すきっかけとなることを切に希望する」を全面的に出します。方針の重点テーマは

①胸にL字の誇りを……ライオンズの素顔を地域に密着させよう

②チェンジとチャレンジ…新しい視点にてアクティビティを再検討する

③クラブの強化………地域奉仕の参与とライオンズ奉仕の広報

District 337-D 有村 純徳

ありむら すみのり①鹿児島ライオンズクラブ②74年③82年度キャビネット会計④AT交通㈱代表取締役会長⑤クラシックカー、モータースポーツ⑥82歳

バブル経済が崩壊して20年、ライオンズクラブも停滞した。17万人いた会員が10万人となり、120億円を数えたアクティビティも42億円と減少した。ライオンズのステータスも先人が築いた市民権もやや薄れてきた。このような時に地区を預かることになった。幸い、政権も変わり積極的な景気対策で、デフレ脱却・景気上昇の気配が感じられる。ライオンズクラブは国連公認のNGOだ。会員増強等を図り、国際的立場を優位に保ち、各クラブが地域社会で期待される存在を維持・発展出来るよう、微力を尽くしたいと考えている。

District 337-B 小田 満美

おだ みつみ①宮崎橘ライオンズクラブ②95年③10年度キャビネット幹事④㈱小田電業代表取締役⑤旅行⑥63歳

スローガンを「輝く未来・豊かな誇り」、モットーを「感動のライオンズライフを」としました。1月にカンボジアへのLCIFスタディ・ツアーに参加し、日本ライオンズが取り組んだ海外奉仕事業を視察して大変感銘を受けました。改めてライオンズのすばらしさを認識し、その一員であることを誇りに思いました。ライオンズのすばらしさは奉仕が原点であることです。誇りと連帯感を共有し、絆を深め、未来に希望を抱き感動あるライオンズ・ライフを送れるよう、CEPを通してクラブ活性化につなげていきたいと思います。

District 337-E 佐藤 武史

さとう たけし①熊本県・免田ライオンズクラブ②87年③11年度ゾーン・チェアパーソン④㈲くすりのエスエス堂代表取締役社長⑤映画鑑賞、カメラ、美術鑑賞⑥64歳

スローガンを「チノーデ・サルカンネ」としました。熊本弁で「一緒に歩こうよ」という意味です。一人ひとりの奉仕も大切ですが、力を合わせて実行しましょう。テーマは「スザンナ」です。これも熊本弁で「下がるな！　後退するな！」という意味です。課題に取り組む姿勢として一歩でも前進しなければいけないと思います。今期の国際会長テーマは「誇りを高める」です。私もこのテーマに大いに賛同します。質の高い誇りある奉仕と誇りあるクラブの活性化に努め、皆様と共にライオニズムの高揚に努力してまいります。

被災地のライオンズは今

宮城県・気仙沼ライオンズクラブ

全国各地のライオンズに支えられ 被災地の活性化に取り組む

　震災前、気仙沼ライオンズクラブ（浅倉眞理会長）は80人の会員を擁していた。震災ではその9割以上が被災、最も古くからのメンバーだったライオン畠山赳夫と前地区ガバナーのライオン千葉宏一を失った。更に2人が転居により退会、廃業してクラブを去った会員もおり、会員数は一時74人に減った。が、今年度初めに新会員2人を迎え、現在は震災直後と同じ76人で活動。月1回に制限していた例会も、昨年度後半から月2回に戻している。

　またアクティビティも積極的に推進しており、児童養護施設「旭が丘学園」への奨学金や薬物乱用防止教室、中学生の硬式野球チーム「気仙沼リトルシニア」の支援など、従来からの継続事業に加え、今年度はさまざまな企画にも挑戦。8月4日に佐渡裕＆スーパーキッズ・オーケストラ東日本大震災復興祈念プロジェクトを受け入れたのを手始めに、同24日には気仙沼出身のジャズピアニスト岡本優子トリオによるチャリティー・ライブ、9月23日にもシンガーソングライターの渡辺真知子、ジャズピアニスト前田憲男らによる「〝わ〟で奏でる東日本応援コンサート」を主催した。更には被災企業の商品を一堂に集めて展示販売する、第1回「沼☆フェスタ」（10月20日開催）にも共催団体として加わり、気仙沼活性化のためイベントを支えた。

「昨年暮れ、気仙沼を支援してくださった全国のライオンズに、礼状と活動報告をお送りし、感謝の気持ちをお伝えすると共にクラブの現状をお知らせしたんですが、送付先は全国三十数クラブに及びました。私たちががんばってこられたのも、こうした皆さんの励ましがあったからです。復興は遅々として進まず、ライオンズの活動も厳しいのは事実です。しかし、全国の皆さんから力を頂く中、少しでもライオンズとして地域に貢献したいと、復興関係の事業は依頼であっても自主企画であっても、前向きに取り組んできました」

　と浅倉会長は話す。一方、会長を支え、数々のアクティビティ企画に携わった佐藤悟幹事は、忙しかったこの1年を振り返り、次のように話していた。

「浅倉会長のスローガンは『笑顔の一歩でウィ・サーブ』なんですが、音楽関係の企画や『沼☆フェスタ』などイベント系が多くなったのは、たまたまとはいえ、今年度を象徴していたように思います」

源義経の恋人であった皆鶴姫ゆかりの地とされる一景島公園に、気仙沼ライオンズクラブが設置した「皆鶴姫漂流の地」の案内看板。2004年、古文書を基に同クラブが建てたが、震災で被災。地域からの要望もあり、気仙沼観光に役立てたいと再建した

ホテル一景閣と気仙沼パークホテル

　気仙沼ライオンズクラブの事務局は震災後、津波被害で取り壊しが決まった南気仙沼のビルから、港に近い老舗ホテル一景閣へ移転した。一景閣は海鮮割烹の宿として人気を呼んでいたが、震災で大きな被害を受け、ホテルの会長ライオン斉藤徹は廃業も考えたという。それでも震災から1年2カ月の2012年5月15日に営業を再開。ライオン斉藤は「復興の拠点として、一日

東日本
大震災

クラブ事務局が置かれるホテル一景閣→
↓気仙沼パークホテルの客室

も早く気仙沼港に明かりをともしてほしいという、地元の励ましに支えられての復活でした」と語る。

この一景閣から100メートルほど歩くと、4月23日から営業を再開したばかりの気仙沼パークホテルがある。塩辛で全国的に有名な小野万（社長・L小野寺邦夫）が運営するホテルで、土地のかさ上げを行った上で新築した。本体の小野万も津波で本社工場4棟が全壊したが、全損を免れた第2工場の2階を改修し、震災の年の10月から一部商品の生産を再開。「家が流され仮設から出社した従業員らと震災後初出荷を見送った時は感無量でした」とL小野寺。その後、13年2月に本社工場が落成、そして遂にホテルの営業再開も果たした。

気仙沼港を望む二つの復興商店街

港に近い南町には「気仙沼復興商店街南町紫市場」と「復興屋台村 気仙沼横丁」という二つの仮設商店街がある。いずれもLCIF交付金を活用しライオンズが支援を行った。

被災地の中で最大級の54店舗が集まる南町紫市場には、昭和4年創業の老舗料亭・割烹世界（店主・L坂本憲一）がある。かつては外壁一面に蔦が生い茂り、風情ある趣を見せていた割烹世界。現在はプレハブの長屋風商店街の2階にあるが、店内は老舗の風格さえ感じさせる美しい作りとなっている。「仮設だからと言っていい加減なことは出来ないし、お客さんにゆっくりして頂きたいから」とL坂本。夜は予約制だが、昼は九分割弁当（写真上）などリーズナブルなメニューがあり、料亭の味が気軽に楽しめる。

一方の気仙沼横丁は、ライオンズが支援した仮設商店街のうち、最も早くオープンした。津波で全てが流され、真っ暗となった街にともされた屋台村の明かりは、復興のシンボルとして多くの人を勇気付けた。期間は当初、今秋までと言われていたが、土地のかさ上げ時期をずらしてもらい2年間の延長が決まった。この気仙沼横丁には、カネダイ（社長・L佐藤亮輔）が運営するマルズワイガニの店かに物語、南町紫市場には気仙沼のB級グルメ気仙沼ホルモンなどを扱う亀山精肉店（社長・L佐々木勝彦）もある。

（取材／鈴木秀晃）

執行役員だより

世界の潮流に乗り遅れぬために

■国際第2副会長
山田實紘
（岐阜県・美濃加茂）

時の経つのは早いもので、国際第2副会長として執行役員に就任し、1年が経とうとしております。海外の複合地区の年次大会やアクティビティに参加させて頂く機会も多々ありました。その都度、さまざまなことを学ぶと同時に、多くの衝撃を受けております。特にショッキングなことは、日本が日本流のライオンズに固執し、国際的に遅れを取っているということです。

特に最近は、２０１７年にライオンズクラブ国際協会創立１００周年記念を迎えるに当たり、国際本部では急ピッチでそのための戦略、計画が立てられております。人道奉仕におけるグローバル・リーダーとしての役割を引き続き維持するため、アクティビティに対する考え方、会員の年齢や性差のバランス、地域交流の在り方等々、より活発で革新的な方向に舵を取っているのです。

一方、私には日本だけが旧態依然とした体制を続けているように感じられます。日本特有の島国根性なのか、一度経験したことへの固執なのか、変化を好まず過去の踏襲を良しとする日本人の気質によるものが大きいのでしょう。ソーシャルメディアが登場し、情報収集やコミュニケーション手段も多様化する中、日本ライオンズは従来の運営形態を頑なに保っているように思うのです。

近年のグローバリゼーションの流れの中で、以前のように国際理事会だけでは風を読み取ることが出来ず、国際本部はいろいろな国際委員会を設置して多方面から意見を取り入れております。ですから各国がしのぎを削り、自国から国際理事だけではなく、いかに多くの国際委員を送り出すかに躍起になっております。幸い日本は東洋・東南アジア・ライオンズ（ＯＳＥＡＬ）の中ではメンバー数が多いので、他国と比べると委員の枠を多く取っております。これも会員増強のなせる業だと思います。

本年度、世界の流れに乗り遅れないようにするために、「日本ライオンズ国際委員会」と「全国ガバナー会」を設立し活動しております。今までは、ライオンズの全世界的な動きについても複合地区ガバナー協議会議長連絡会議において理事会報告が半時間ほど持たれるのみで、今、実際に世界で何が問題にされ、何に対して迅速に対応しなければならないかを、日本の全リーダーが早急に把握するのは難しい状況でした。

日本ライオンズ国際委員会は現国際理事、現国際委員、現八複合地区協議会議長の約20人で構成され、国際理事会終了後1週間以内に情報を共有しています。同時に全国ガバナー会を開催し、日本のリーダーが一堂に会するため、意思伝達がスムーズに行われることになります。その後、それぞれの地区に持ち帰り、キャビネット会議やガバナー諮問会議を通じて、1カ月以内に国際協会の方針が各クラブにまで行きわたるようになるはずです。このシステムはまだスタートしたばかりで、各会員まで徹底されていないところもあるかもしれませんが、軌道に乗れば、潮流にいち早く対応し、世界を牽引する日本ライオンズになると確信しております。

国際第2副会長として各国を訪問すると、日の丸がはためき、君が代が流れます。世界中に日本ライオンズの力を示してまいりましょう。

ライオンズニュースカセット

NEWS CASSETTE

↑エチオピアのテベベ・Y・バーマン元地区ガバナー（右）と共に、オンコセルカ症の感染が広がる辺境地帯の村を訪れたカーター元アメリカ大統領（左）
←カーター元大統領と共に発表に臨んだマデン理事長（前列中央）

The Carter Center/D. Hakes

共に眼病との闘いに挑むLCIFとカーター・センター

5月16日、アメリカ・ジョージア州アトランタにあるカーター・センター本部において、ウェイン・マデンLCIF理事長とジミー・カーター元アメリカ大統領は、エチオピア、ウガンダ、マリ、ニジェールで予防可能な眼病による失明の根絶を目指すライオンズ・カーター・センター視力ファースト・イニシアチブに880万ドルの資金を投じることを発表した。

カーター・センターとLCIFの提携が結ばれたのは1999年。南米とアフリカでオンコセルカ症（河川盲目症）やトラコーマの根絶を目指し共に闘ってきた。2013年には、両者の支援により南米コロンビアでオンコセルカ症が根絶されたことを、WHOが確認している。マリとニジェールでは15年までにトラコーマによる失明をなくする活動が進行中で、世界でも罹患率の高いエチオピアのアムハラ地域での活動も成果を上げている。今回の発表は、その目標達成に大きく寄与するものとなる。

「20年以上にわたるLCIFとのパートナーシップは、看過されていた眼病との闘いで先頭に立つカーター・センターの大きな支えとなっています」とカーター元大統領。マデンLCIF理事長は「我らライオンズの一員でもあるカーター元大統領と共に、アフリカにおける眼病根絶に貢献出来るのは非常に光栄なことです」と述べた。

94年以降、LCIFはカーター・センターの活動に4200万ドルを交付している。

2014・15年度国際第2副会長立候補者が8人に

6月号本欄で2014・15年度国際第2副会長選挙の4月末時点の立候補者7人のプロフィールを掲載したが、その後更に1人が立候補を表明し、立候補者は8人になった。

フィル・ネーサン（イギリス・アールスコルン）82年に入会し、サウス・ウッドハム・フェラーズライオンズクラブのチャーター・メンバー。99〜01年国際理事を務める。株式仲買人、会社重役。06年及び14年のヨーロッパ・フォーラム委員長を務める。奉仕活動の業績に対し、01年エリザベス女王の承認によりMBE叙勲。

トロント国際大会直前情報

トロント国際大会は7月4日〜8日の日程で開催。総会会場のエア・カナダ・センターと、展示場やセミナー会場となるメトロ・トロント・コンベンション・センター（MTCC）はトロント中心街にあり、ひときわ目を引くCNタワーのすぐ足下にある。

■インターナショナル・パレード

7月5日（土）10時〜

国際大会に参加する最大の楽しみの一つが、ライオンズの国際性を肌で感じられるパレード。民族衣装やユニークな扮装に身を包んだ各国ライオンズが、軽快なバンドの演奏に乗って行進する。今大会のパレード・ルートはトロント中心部、ユニバーシティー・アベニューの1.6キロ。スタート地点のクイーンズパーク周辺は、約600万点のコレクションを所有するロイヤル・オンタリオ博物館や1893年建造のオンタリオ州議事堂、石造りの重厚な校舎を持つトロント大学などがある文化の香り高いエリア。ロイヤル・オンタリオ博物館には「高円宮ギャラリー」と命名された日本ギャラリーもある。

トロント大学ユニバーシティー・カレッジ

■平和ポスター・コンテスト受賞者サイン会

7月6日（日）15時45分〜16時45分

展示ホール内には期間中、国際平和ポスター・コンテストの受賞作品が展示される。サイン会では受賞者がその場でサインしたポスターが購入出来る。

■環境保全写真コンテスト授賞式

7月7日（月）16時30分〜17時

世界各国の会員が撮影した色彩豊かな景観、珍しい気象現象、野生生物。環境保全写真コンテストの入賞作品は展示ホールに掲示され、大会参加者による投票で優秀作が表彰される。写真は全てサイレント・オークションで購入出来、集まった資金はLCIFに寄付される。2015年写真コンテスト・カレンダーも販売。

■ライオンズ・ケア2014プロジェクト

このプロジェクトでは、大会に参加したライオンズ会員が力を合わせ、女性や児童の保護施設であるYWCAトロントを支援する。展示ホールに置かれる「ライオンズ・ケア2014」ブースでは、未開封の洗面用具、公共交通機関トークン、ギフトカードなどの寄付を募る。このプロジェクトに参加することでライオンズは、開催地トロントに多くを貢献することが出来る。

八複合地区の議長が福島県内の被災地域を視察

4月9日、東日本大震災復興支援対策本部のメンバーでもある佐藤精一郎（330複合地区）、伊藤信賢（331）、若木幹（332）、小板橋欽也（333）、柳原宏行（334）、森本克幸（335）、渡部雅文（336）、鬼塚俊郎（337）各議長が、福島県内の被災地域の現状を把握するため、東京電力福島第1原発事故により大きな影響を受けた南相馬市と浪江町を視察した。震災の風化が懸念される中、被

災地の実情を理解してもらいたいという、地元332複合地区の若木議長、安澤荘一332-D地区ガバナーの要請を受けて実現したもの。

視察には安澤地区ガバナー、林昭兵332-C地区ガバナーらが同行し、一部地域が居住制限区域と避難指示解除準備区域に指定されている南相馬市原町区を活動域とする原町ライオンズクラブの門馬弘ゾーン・チェアパーソン、酒井和廣会長、木幡勝彦幹事が案内役を務めた。南相馬市では放射性物質の仮置き場や帰還困難区域にある牧場などを視察。全町民が避難している浪江町では、役場庁舎で渡邉文星副町長から原発事故の影響で復興が進んでいない町の状況について説明を受けた他、手つかずのまま放置されたがれきの山など町内の様子を視察した。

小板橋議長は今回の被災地視察を次のように振り返る。

「今回は332複合地区の計らいにより特別許可を受けて立ち入り禁止区域を視察することが出来ました。ゴーストタウン化した町は想像を絶する光景でした。特に我々の目を引き付けたのは津波の犠牲になった方々の御霊を弔うためにあちこちに置かれた献花台で、誰言うともなく黙とうを捧げました。視察には『福島民報』『福島民友』両新聞社の記者も同行され、翌日の記事でライオンズの被災地訪問が報じられました。今後ライオンズが何をしていけばいいのか、大きな課題を背に現地を後にしました」

家族会員の会員登録について

2013年10月の国際理事会で日本向けの会員増強策として家族会員パイロット・プログラムが設けられたことを受けて、今年に入って家族会員が大幅に増加している。いわゆる子会員（国際会費半額免除となる家族会員）の数は、5月末現在1万8038人で、13年12月末の5919人からは1万2119人増となった。この増加に伴い、各クラブが行うeMMRサバンナ及びMyLCIでの家族会員登録がうまく行えないケースが多発している。特に多く生じているエラーは「新会員として子会員を登録する際、親会員（世帯主）登録が失敗しているために登録出来ない」というもの。サバンナで登録したデータはMyLCIに送られるが、登録を完了した親会員の情報が通信不良などの理由でMyLCIに反映されないことが、エラーの主な原因となっている。この場合は、親会員の登録をやり直してそのデータがMyLCIに反映されたことを確認した上で、新会員（子会員）登録を行う。

またMyLCIでは、親会員の登録後7日以内に子会員の登録が行われないと、親会員としての記録が解除されてしまう。そのため、親・子会員の登録は同日に行うのが望ましい。

eMMRサバンナの登録内容や操作方法に関しては各地区キャビネットがクラブへのサポートを行っているが、国際本部太平洋アジア課が日本向けの情報発信用に設けている日本語サイト（sites.google.com/site/pacificasianja/）上に家族会員パイロット・プログラム及び家族会員の登録に関する情報を掲載しているので、参考にされたい。

会議録

第9回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（4月25日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：佐藤精一郎、伊藤信賢、若木幹、小板橋欽也、柳原宏行、森本克幸、渡部雅文、鬼塚俊郎各議長、武久一郎国際理事、山浦晟暉GMT会則地域副リーダー）

①次期国際会長公式訪問について②国際委員会への対応について（国際委員会事務局を日本ライオンズ連絡事務所内に設置する件）③第60回複合地区年次大会共通提案④報告及び確認事項⑤GMT関係⑥日本ライオンズ連絡事務所運営関係⑦各種委員会・会議報告

■**第10回ライオン誌日本語版委員会**（5月9日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：武久一郎、清水英徳両国際理事、大熊泰雄、茂尾実、佐藤義則、小西宗仁、大村行範、団英男、組嶽晶一、田崎登保各委員、鬼塚俊郎議長、荘英隆、小柴登司〈オンライン〉、辰巳博昭〈オンライン〉各ITアドバイザー）①ライオン誌日本語版事務所の運営②5月号（4月21日見本／9万9100部発行）出来③6月号記事内容の確認④7月号以降台割（案）と主要記事予定⑤その他

■**第4回複合地区国際大会委員長連絡会議**（5月15日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：石井征二、山口富雄、山口一男、塚田雅二、石井博之、小林登、識名安信各委員長、渡部雅文議長〈委員長代理〉）

【第Ⅰ部：委員長協議】A.第97回トロント国際大会（2014年7月4日～8日）①大会登録者数及び代議員予備登録者数②インターナショナル・パレード③日本ライオンズ代議員会・ジャパンレセプション（設営担当335複合地区）

【第Ⅱ部：複合地区公認ツアー・コーディネーターとの協議】B.トロント国際大会全般の確認事項C.第53回OSEALフォーラム（韓国・仁川）

■**第10回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議**（5月20日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：佐藤精一郎、伊藤信賢、若木幹、小板橋欽也、柳原宏行、森本克幸、渡部雅文、鬼塚俊郎各議長、武久一郎、清水英徳両国際理事、山浦晟暉GMT会則地域副リーダー）①次年度への引き継ぎ事項の検討②報告及び確認事項③GMT関係④薬物乱用防止教育関連⑤日本ライオンズ連絡事務所運営関係⑥各種委員会・会議報告

新結成／解散

■**新結成クラブ**

京都グレース（柱本めぐみ会長／32人）▼5月12日認証▼スポンサー／京都朱雀

■**解散クラブ**

5月＝山梨ニューセンチュリー

訃報

■**元国際役員**

ライオン秦三郎（福岡玄海）
5月1日死去。86歳。1993年度337‐A地区ガバナー。2003年度国際理事会アポインティー。

ライオン広瀬恒彦（神奈川県・横浜シーサイド）
5月23日死去。84歳。1997年度330‐B地区ガバナー。

ライオン滝沢瑞穂（長野県・飯田赤石）
5月23日死去。78歳。2009年度334‐E地区ガバナー。

■**献眼者**

4月＝ライオン相田完児（栃木県・小山東）

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

国際大会開催予定

14年7月4日～8日：カナダ・オンタリオ州トロント
15年6月26日～30日：アメリカ・ハワイ州ホノルル
16年6月24日～28日：日本・福岡
17年6月30日～7月4日：アメリカ・イリノイ州シカゴ
18年6月29日～7月3日：アメリカ・ネバダ州ラスベガス
19年7月5日～9日：イタリア・ミラノ

第98回ライオンズクラブ国際大会の開催地となるハワイ・ホノルル。ホノルルでの国際大会は76年、83年、00年に続き4回目となる

LIONS ON LOCATION 世界で奉仕するライオンズ（『ライオン誌』本部版より）

ベネズエラ

視力を守るライオンたち

ベネズエラ中北部のアラグア州カグアは、人口13万人の工業都市だ。カグアにあるアンドレス・ベロ小学校で学ぶ児童の多くは、目の検査を受けたことがなかった。会員数64人のカグアライオンズクラブは、この学校で眼科検診を行い、必要に応じて眼鏡や治療を提供する5年計画の事業を立ち上げた。

昨秋、眼科医ら眼科医療の専門家が学校を訪れ、1年生と6年生の児童68人の検査を実施。ライオンズはアラグア地域眼科センター、アラグア眼科クリニックなどと連携してこの事業を実現させた。

ネパール

巡礼者に休息のひと時を

17世紀から続くディパンカ・ヤトラは、世界でも最大規模の巡礼の一つ。満月、月食など五つの天体現象が重なる日に行われる行事で、昨年10月、5年ぶりに行われた。

ディパンカ・ヤトラではヒンズー教徒と仏教徒が双方の聖地を訪れる。10万人の裸足の巡礼者が、2日間で131の寺院や廟を巡るのだ。

「この巡礼は国家の平和と団結を維持するためにとても重要なものです」と、カトマンズ サムリディ ライオンズクラブのラトナ・シャカ幹事は言う。ライオンズは赤十字と協力して、巡礼者が1日に歩く約65キロの道のりの中間地点にキャンプを設置。必要な応急処置や足マッサージ、飲料水などを提供した。

昨年7月に結成されたばかりのカトマンズ サムリディ ライオンズクラブは、献血や車椅子寄贈、白内障手術の提供、図書館建設も実施している。

エストニア

レゴは最高の贈り物

エストニアのタリンEEST-Iライオンズクラブは、養護施設にミニバスと自転車、芝刈り機を寄贈し、施設の改修も行った。しかし子どもたちが最も喜んだ贈り物は、2セットのレゴだった。子どもに大人気のこのブロック玩具は、レゴ本社のあるデンマークから届けられた。

レゴ寄贈のきっかけは、昨年7月のハンブルク国際大会に参加したシモ・マルク第2副会長（当時）と、デンマークのジミー・ノボ元地区ガバナーとの出会い。タリンのライオンズの活動を聞いたノボ元地区ガバナーが、チャリティー事業で年に5万5千セット以上のレゴを寄贈しているレゴ社に働き掛け、エストニアの孤児院にもレゴが贈られることになった。

「レゴは非常に優れた玩具で、子どもたちに大好評です。集中力を欠いて問題を抱えていた子でさえ、何時間も夢中で遊んでいるそうです」とライオンマルク。

タリンEEST-Iライオンズクラブが3年前から支援するこの孤児院は、失業率が高く、多くの社会問題を抱える地域にある。子どもたちの両親の多くは、薬物やアルコール依存によって家を失い、子どもを手放した。孤児院で暮らす22人の子どもたちのために、クラブはさまざまな支援を提供している。

LCIF FILE

Foundation Impact / SightFirst Update / LCIF Development Update

Foundation Impact

「ミッション：インクルージョン」活動

マラウイ共和国の首都リロングウェにあるシビルスタジアムは、サッカーの試合開始を待つ人たちの興奮と熱気に包まれていた。試合は「障害に関するアフリカ・リーダー・フォーラム」の開催を記念して行われた。このフォーラムは、アフリカにおける知的障害者支援を協議するためマラウイ大統領であるジョイス・バンダ博士が主催。知的障害・発達障害を持つ人々の現状を多くの人に認識してもらう歴史的なイベントとなった。参加者はアフリカ12カ国の政府高官を始め、保健や障害者に関係する団体の代表者からなり、ライオンズクラブ国際協会（LCI）は、スペシャルオリンピックス（SO）と共に取り組む「ミッション：インクルージョン」活動の一環として、これに参加した。

「ミッション：インクルージョン」活動は、障害者の地域への参加・統合をサポートするプログラムの提供を目的としている。その一環として、SOが展開するユニファイドスポーツというスポーツイベントには、多くのレオが参加している。

フォーラムでは、バンダ大統領が「知的障害に関するアフリカ・リーダーシップ同盟」の結成を宣言、知的障害を持つ人々の生活環境向上のために組織として活動することを誓った。

「就学や医療に関する対策や、社会サービスをより良くしていくための政策などに取り組む以前に、私たちは知的障害を持つ人々を社会から隔離し差別してきた壁を打ち壊し、過去のものにしなくてはなりません」

とバンダ大統領は語る。「ミッション：インクルージョン」はまさにこうした壁を打ち壊すための活動と言える。

マラウイのレオたちは国際的なチームワークを胸に、この日、SOマラウイ代表や、同国サッカー連盟、政府関係者、また南アフリカの有名サッカー選手たちと肩を並べ、元気にピッチに立った。これはアフリカで開催された、初めてのユニファイドスポーツとなった。

またLCIFが主催するファミリーヘルス・フォーラムには、知的障害児を持つ家族や関係者らが参加、社会から隔離された人々に保健、教育、社会サービスを提供するための取り組みが紹介された。

SOとLCIは知的障害者の生活向上のために活動しており、「我々を最も必要とする人に奉仕する」という明白なミッションを合言葉に、これからも協力して活動を続けていく。

Photo by Fernando Cambeiro

SightFirst Update

ドミニカに視力をもたらすライオンズ

真冬のウィスコンシン州から常夏のドミニカ共和国に到着したケノーシャのライオンたちは、太陽の恩恵を受けるよりも、自分たちの重要な目的の方に照準を合わせた。LCIFやアメリカの教会、ドミニカ共和国からの支援の下、両国のライオンズは協力して、サバナ・イエグアの住民を対象に視力検査を行い、眼鏡や医薬品、手術を提供する無料の眼科クリニックを開いた。

LCIF国際援助交付金を受け、ケノーシャのライオンズがドミニカを訪れたのは今回で2回目である。今年は3万ドルのLCIF交付金の他、ライオンズやウィスコンシン州の教会が資金を集めてくれ、クリニックを開くことが出来た。

「サバナ・イエグアの住民は眼鏡を買うことさえ出来ません」

と、この任務に携わった眼科医のライオンピーター・エマーは話す。ドミニカに滞在した4日間で、彼らは1200人を診察し、900組の眼鏡を配布した。また、外科医のライオンスティーブン・スラナと二人の眼科助手は、検査で見つかった白内障などの治療に当たった。彼らは合計118件

の手術に成功し、さまざまな眼病を治療した。

　更に今回は、サバナ・イエグアまで通えない人たちのためにサテライト・クリニックも設けた。これらのクリニックは古い教会や刑務所などでも実施され、刑務所では囚人や守衛に日差しから目を守るためのサングラスや点眼薬、野球帽を提供した。

　一方、ドミニカのライオンズは患者の情報集めから搬送、フォローアップ治療の手配までし、大いに活動した。そして両国ライオンズの協力により、今回のミッションは成功に終わった。

が、ライオンズはそれに満足することなく、次の訪問に向け準備を進めている。次回クリニックを開設するための場所を調査し、更に術後のフォローアップ治療を受ける手段を改善する方法も模索している。

　このミッションを通じて、一つはっきりしたことがある。ライオンズクラブ間に築かれた国際的パートナーシップは、決意と奉仕活動の絆であり、言語や国境を超えるものだということだ。それが正しいことは、ドミニカの人たちに聞いてみれば分かるだろう。

（エリック・マルグレス）

LCIF Development Update

LCIF創設50周年記念目標

ライオンズクラブ国際協会は2017年に創立100周年を迎えますが、翌18年はLCIFが誕生して50周年となります。そこで財団では「LCIF創設50周年記念目標」を設定し、50周年を迎える18年までの6年間の献金目標スケジュールを発表。前期からその達成に向け、活動をスタートさせました。

　日本ではこの6年間を3年ずつ2期に分け、献金活動を展開することになりました。目標額は本誌1月号30ページでご説明した通り、過去3年（09～12年）の実績の5％増となる24億6千万円です［参考：視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）は3年間で56億円の実績］。

　今年度は別表の通り4月末までに7億1775万7862円の献金があり、創設50周年記念目標がスタートした12年7月からの累計では12億8632万8767円（達成率52・3％）となっています。目標達成に向けてご協力賜りますよう、切にお願い申し上げます。（LCIF国際委員、エリア・コーディネーター／桜井孝一、澁田繁晴）

■LCIF献金目標 地区別献金額（円）と達成率（％）

地区	13-14献金額*	達成率	12～14献金額*	達成率
330-A	19,608,186	74.8	36,346,526	46.2
330-B	40,023,193	77.3	82,279,604	52.9
330-C	5,399,700	56.8	10,775,190	37.8
331-A	27,260,470	110.1	50,081,394	67.4
331-B	14,097,680	169.3	19,988,562	80.0
331-C	2,518,028	25.3	7,168,373	24.0
332-A	8,660,568	101.0	13,904,321	54.1
332-B	8,055,960	90.8	14,638,720	55.0
332-C	12,400,995	189.1	20,466,995	104.0
332-D	18,254,600	148.2	29,386,840	79.5
332-E	4,577,547	101.5	8,613,547	63.7
332-F	2,224,000	72.9	4,401,514	48.1
333-A	13,580,887	89.1	26,359,087	57.6
333-B	10,324,358	91.6	18,614,918	55.0
333-C	17,605,373	110.2	30,660,603	64.0
333-D	13,819,800	99.5	24,598,740	59.0
333-E	23,071,480	102.3	44,230,980	65.4
334-A	111,090,420	97.0	206,629,383	60.1
334-B	26,985,472	98.2	48,648,198	59.0
334-C	25,979,050	124.1	42,972,575	68.5
334-D	29,235,755	155.7	44,486,985	79.0
334-E	19,228,968	108.9	34,404,494	64.9
335-A	13,558,050	150.6	18,488,864	68.4
335-B	55,381,245	62.2	93,610,117	35.0
335-C	29,371,872	63.2	48,091,088	34.5
335-D	12,503,860	139.5	20,245,940	75.3
336-A	26,253,020	74.7	49,457,779	46.9
336-B	8,483,440	47.0	17,116,875	31.6
336-C	24,532,710	89.0	42,888,810	51.8
336-D	12,409,594	83.6	24,923,422	56.0
337-A	39,599,210	75.0	63,741,371	40.3
337-B	12,068,622	75.9	26,854,552	56.3
337-C	15,500,420	67.3	29,300,080	42.4
337-D	9,804,149	59.8	21,007,846	42.7
337-E	4,289,180	57.0	10,944,474	48.5
全国	717,757,862	87.5	1,286,328,767	52.3

＊13-14年度は14年4月末までの10カ月、12～14年は22カ月分の累計

CLUB REPORT
クラブ・リポート

336-A地区

香川県・坂出シニア ライオンズクラブ

子どもたちに届ける人形劇公演「なきむしももたろう」

　この時期にしては強い日差しが照りつけた5月10日。坂出市立川津小学校体育館に子どもたちが続々とやって来ていた。この日、体育館は人形劇の劇場に早変わりした。上演したのは岡山県倉敷市を拠点に活動している、とらまる人形劇団。演目は「ぷーん、ちゃりん」と「なきむしももたろう」だ。毎年、坂出周辺で演目と小学校を変えて上演している。今年で6回目となるこの上演、坂出シニア ライオンズクラブ（松本昌明会長／55人）は2回目から、計5回共催している。

　とらまる人形劇団は、かつて東かがわ市にあった人形劇学校「パペットアーク」の卒業生によって結成されたもの。毎年新作を発表し、各地の小学校や保育園、幼稚園などを回っている。

　この日は人形劇の前にライオン好井敏彦がジャズピアノを披露。ライオン好井はかつて美空ひばりさんのバックで演奏したこともある実力者だ。劇前に20分ほど演奏する予定だったが、その前の開場時間中にも演奏をして、開演前の子どもたちを飽きさせないようにしていた。

　ライオン好井のピアノの後は人形劇だ。まずは落語「始末の極意」を下敷きにした「ぷーん、ちゃりん」から。隣家から漂ってくるサンマを焼く匂いをおかずにご飯を食べていた男が、その隣人から「嗅ぎ代を払え」と訴えられる物語。本当に人形がしゃべっているかのような表情豊か

当日は坂出市の公認キャラクターさかいでまろも応援にかけつけた

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。
ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

なコミカルな演技で会場は笑いに包まれた。

　続いてかの有名な「桃太郎」をアレンジした「なきむしももたろう」の上演。この作品では遠近法などが駆使され、人形のサイズも場面によって変化するなど、非常に凝った演出が施されている。また、コメディーシーンが多く挿入されており、子どもたちからは笑い声が上がっていた。クライマックスでは音楽と共に演技も大盛り上がり。一風変わった桃太郎の物語に子どもたちは心動かされていた。

　公演が終わると、今度は過去公演で使用した人形を、手に取って見るコーナーを設置。手足や表情をどう動かしているのか、説明をする劇団員の言葉を一言も漏らすまいと、子どもたちは真剣に聞いていた。

　この日集まったのは川津小学校の子どもを中心に、１００人ほど。野球の練習の合間に見に来た子どもたちもいれば、立つのがやっと、という小さな子どももいた。クラブでは毎年チラシを１千枚以上作り、会場となる小学校はもちろんのこと、近隣の幼稚園、図書館などでも配布。テレビ放送やフェイスブックページを活用し、事業のＰＲに励んでいる。

　今後もクラブではこの事業を継続していく予定だ。出来るだけ多くの小学校に行きたいと考えているが、生徒数が少ない学校にはなかなか行けない事情がある。今後はそういった所でどう実施するか、というのが課題だと考えている。

（取材／井原一樹　撮影／関根則夫）

335-B地区

和歌山西ライオンズクラブ

水の大切さと生き物の尊さを学ぶ鮎の遡上見学と稚鮎放流

5月9日、和歌山西ライオンズクラブ（東洋一郎会長／31人）は、紀の川大堰・鮎の遡上見学及び稚鮎の放流アクティビティを実施した。当日は、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所の職員から、紀の川の水が我々の生活にどう利用されているのか、その水量を紀の川大堰がどう調整しているのかを説明して頂いた。また、紀の川大堰のゲートを上下に動かす操作室の見学や、階段式魚道を通る魚の様子を真横から観察出来る魚道観察室を見学した。参加した和歌山市立宮北小学校5年生34人は熱心に説明を聞き、魚道観察室では魚を見つける度、大きな歓声を上げていた。

この日は晴天にも恵まれ、子どもたちは紀の川の河川敷で楽しくお弁当を食べた後、10キロほど上流の川辺に移動し、稚鮎の放流体験を行った。紀の川漁業協同組合川口組合長があいさつした後、子どもたちがまだ少し冷たい紀の川に足首まで浸かり、今にもバケツから飛び出しそうな元気な稚鮎を約千匹、心を込めて放流した。

この事業は、地元の子どもたちに「水の大切さ」「生き物の尊さ」を学習と体験・頭と体で感じてもらうことを目的に、和歌山河川国道事務所及び紀ノ川漁業協同組合の協力を得て、当クラブが主催。この日の様子は地元放送メディア・新聞各社で報道された。「初めてでとても楽しかった」と目を輝かせて話す子どもたちの学習の一端として思い出に残る1日となったようで、会員一同喜びに堪えない。

（環境保全委員長・アクティビティ部長／西村和能）

333-B地区

栃木県・今市ライオンズクラブ

最長継続アクティビティ 黄色いランドセルカバー贈呈

今市ライオンズクラブ（吉岡賢二会長／37人）は3月の第2例会で、小学校新1年生に交通安全の黄色いランドセルカバーを贈呈した。

この事業は毎年恒例となっているもので、市内小学校に入学する子どもたちを対象としている。今期で46回目を数え、当クラブの伝統的アクティビティとして継続している。

当クラブの結成は1967年11月25日のことだった。それ以降、一番長く継続されているのがこの事業である。

最初に行われたのは69年のこと。当時は図書室のテーブルや映写機を寄贈するなど、学校関係で児童生徒を対象としたアクティビティが多かったようだ。そんな中、メンバーで話し合いをし、この事業の実施が決まった。その結果、当時市内にあった12校に贈呈。現在は1校増えて、13校の新1年生に贈呈している。

贈呈するランドセルカバーは中央にライオンズのロゴがプリントされているシンプルなデザインのもの。当初から変わらないデザインだ。

2年ほど前からは最初に実施した際にこのランドセルカバーをつけて登校した方から「孫が同じランドセルカバーを着けて学校へ行っています」といった声も聞かれるようになってきた。

多い時は700人を超える新入学1年生がいたが、現在はその人数も少子高齢化の影響で半数近くに減っている。だが、当クラブでは今も、またこれからも継続アクティビティとして実施していくつもりだ。

（広報委員長／小林勇）

337-C地区

佐賀県・肥前有田ライオンズクラブ

市民の有効活用願い チャイルドシート寄贈

肥前有田ライオンズクラブ（馬場厚暢会長／44人）は4月9日、有田町社会福祉協議会を訪問し、町民への貸出用としてチャイルドシート3台を寄贈した。

当クラブでは3年前から地域貢献の社会福祉活動として貸出用車椅子の寄贈を行ってきた。今年は地域からの要望もあり、連休を前に里帰りなどで需要の多いチャイルドシートを寄贈することにした。

チャイルドシート寄贈のために掛かった費用は、3月26日に開催した第7回青少年健全育成・社会福祉チャリティーゴルフ大会の収益金から捻出した。このチャリティーゴルフ大会には60社を超える地場企業から協賛賞品の提供を頂いた。また、近隣のライオンズクラブのメンバーや地元のたくさんの皆様にご参加頂き、今回の寄贈のような事業が出来た。地域の皆様と共にこうした活動が出来るのも、ライオンズのモットー「ウィ・サーブ」の精神が生かされているからと自負している。

4月16日には、青少年健全育成のために有田町内の小中学生による奉仕活動団体SAPジュニア隊へ助成金を贈呈した。また、社会福祉支援として佐賀セラミックロード車椅子マラソン大会実行委員会へ支援金を贈呈した。

今回寄贈したチャイルドシートは好評で、たくさんの方々にご利用頂いたと聞いている。

馬場会長は「今後とも地域のために役立てる事業を継続して活動していきたい」と、更に地域ニーズに即したアクティビティの実施を誓った。

（幹事／山﨑俊憲）

335-B地区

和歌山県・御坊中央ライオンズクラブ

中学生の研究成果を冊子に 防災冊子、パンフレット作成

「天災は忘れた頃にやってくる」。この言葉は先人の名言だ。御坊中央ライオンズクラブ（38人）の活動拠点・御坊市は紀伊半島の中間、海岸線に面した所に位置している。この辺りを含め和歌山県では台風や豪雨による水害や地震による津波で過去に何度も被害を受けている。そこでライオンズとしても防災に関わりたいと考えていた。

御坊市に隣接している印南町は私の故郷であり、過去何度か津波に襲われた地域である。その印南町にある印南中学校の生徒が防災について勉強していると聞いた私は、何か手伝うことが出来ないかと申し出た。

印南中学校の生徒たちの取り組みは2004年から始まり、印南湾で津波が高くなる原因や防波堤の効果を、模型やコンピューターによるシミュレーションをもとに探ってきた。一定の研究成果が出たため、それを基に地域住民への啓発活動も行うようになったという。だが、研究成果を小冊子やパンフレットにしようにも資金の問題があるという。そこでクラブで検討し、協力することになった。全額負担は出来なかったが、足りない分は教育委員会や町議会などが負担してくれた。

出来上がった小冊子は町内の教育、行政、地区の関係者に配布。分かりやすい箇所を抜粋して作成したパンフレットも1500部配った。これをきっかけに避難道路の看板が増え、訓練もより盛んになったと感じている。これらの情報発信源が中学生であったことを鑑みても意義の大きな事業だったと思っている。

（会長／塩路伸行）

330-A地区

東京桑都ライオンズクラブ

奇麗になった浅川の魅力満載
子どもたちの川遊び体験

5月18日、東京桑都ライオンズクラブ（芝憲司会長／19人）は子どもたちを対象に、川で遊ぼうというアクティビティを実施した。会場となった浅川は八王子市役所のすぐ隣を流れている。

川沿いは犬の散歩道になっている他、市役所が駐車場を開放したこともあって、天気の良い日は遊びに来る人もいるなど市民の憩いの場になっている。

参加したのはその場で休日を楽しんでいた家族連れや、メンバーの知り合いの子どもたち。合わせて約20人が浅川の中に入り、魚や虫を追いかけた。

浅川はかつて水質が非常に悪く、川遊びなどもってのほかの河川だった。だが、市の取り組みもあって徐々に水質が改善。今では絶滅危惧種が見られるほど多様な生き物が生息するようになった。また、従来のようなコンクリートによる護岸工事ではなく、ヨシなどの植物によって水の勢いを弱める方針をとっているため、入りやすく遊ぶのにはもってこいの川となっている。

東京桑都ライオンズクラブがこの事業を始めたのは6年前のこと。ライオン木村雅一が会長を務めていた時のことだ。身近な川である浅川が水質改善によって多様な生態系を擁し、相当良い環境になっていることを地元の子どもたちに伝えたいと思った。そこで市役所水循環部に相談したところ、地域に根ざした環境教育、環境学習の充実を図っている八王子浅川子どもの水辺協議会を紹介してもらった。そこでクラブと協議会とで協力してこの事業を実施することとなった。事業で使用するタモやバケツなどは協議会のものを借りている。

内容は生き物の採取方法を教えて体験、観察してリリースすることに決まり、毎年実施している。魚釣りが趣味でもあるライオン木村も子どもたちと一緒に川に入って生き物を追いかけている。

かなり流れがゆるやかな場所で実施しているとはいえ、川に

は危険も多い。そこでクラブでは子どもたちにカラフルなライフジャケットを貸し出し、靴の着用を義務付けている。また、何かあっても対処出来るよう、参加人数が多くなり過ぎないように注意している。当初は市内の小学校にビラを持っていくなどしていたが、今では口コミで参加を予約する子ども以外は、基本的に実施する日に河川敷に来ている家族連れに声を掛け、参加してもらうことにしている。こうして人数を抑えることで安全に事業を実施出来るのだ。また、あまり人数が多いと魚をなかなか捕れない子どもが出てきてしまい、満足度も下がってしまうことも参加者数を抑える理由の一つだ。

　クラブにとってうれしいのは、最初は及び腰だった子どもも、帰る時には「楽しかった。また来たい」と言ってくれることだ。子どもたちは思いの外、魚がよく捕れることを喜び、帰りの際は笑顔になっている。

　クラブではこのアクティビティは浅川の魅力を伝える上で重要な事業だと考えている。また、子どもの頃に川で遊んだ経験は大人になった時に何事にも代え難い。こういった考えから、規模を大きくするよりも安全に実施し、長く継続していくことが重要だと考えている。

（取材／井原一樹　撮影／関根則夫）

335-A地区

兵庫県・そのだライオンズクラブ

園田をより良い街へ 夢と希望の作文コンテスト

そのだライオンズクラブ（髙木一造会長／43人）は小学校高学年を対象に作文コンテストを実施した。テーマは「そのだ 夢」。子どもたちに人前で発表する機会を与えると共に、古里への郷土愛を育んでもらいたいという考えから実施した。中心となったのは、人づくり委員会委員長の米谷妍。地域の小学校のみの募集だったが、予想を上回る258人から作文が集まり、1次審査の結果、その中から26人が選考された。

1月24日、最終審査が行われ、優秀賞6人、準優秀賞10人、ライオンズクラブ賞10人が決定した。表彰式は2月16日に園田地区会館で開催。当日は子どもたちに自分の作文を朗読してもらった。内容はオリンピック選手が誕生するような町づくりや、家族や高齢者が安心して出歩ける複合施設、町中が「ありがとう」と言える環境づくりなどだった。どれもすばらしい出来で、選考委員になったメンバーたちは順位をつけるのに心が痛んだ様子だった。

作文には子どもの澄んだ心だからこそ発想出来る夢、アイデアがたくさんつづられていた。これらを読むと私たちの考えが既に陳腐化しつつあることに気付かされる。これからのライオンズクラブとしての地域への関わり方について大きなヒントを授かった。同時に、未来を託すことの出来る子どもがこんなに大勢いると感じた。

未来の大人たちよ！ 未来の子どもたちのために、今の心を大切にしてください。

そしてあ・り・が・と・う！

（会計／岡村泰玄）

333-C地区

千葉県・柏創生ライオンズクラブ

気仙沼に届け！ 東日本大震災復興支援事業

4月13日、柏創生ライオンズクラブ（22人）は「第3回チャリティーミュージックフェス～絆～2014柏の力！気仙沼に届け！」と題した東日本大震災復興支援事業を柏ふるさと公園で開催した。当日は気仙沼ふかひれブランドを守る会による気仙沼の物産店が開店。焼きサンマの販売やサメの解体ショーが行われた。気仙沼のふかひれを使用したふかひれスープは、販売前から行列が出来、約750食が即完売する人気だった。ステージでは世界一に輝いたこともあるチアダンスチーム・ゴールデンホークスのダンスや、国内で金賞を受賞している市立柏高校吹奏楽部による演奏などが披露され、会場は大いに盛り上がった。また、気仙沼出身の歌手熊谷育美さんの美しい歌声に震災の経験を思い出して涙する人も見られた。この日は約2万5千人が来場。大盛況のうちに終えることが出来た。

今回、新たな試みとして気仙沼市に届ける応援メッセージカーを用意した。これは白いワンボックスカーに、気仙沼への応援メッセージをマジックで書き込んで頂く事業。後日、気仙沼市役所に約10日間展示したところ、多くの反響とお礼のお言葉を頂いた。今回の義援金は、気仙沼市役所と気仙沼ふかひれブランドを守る会に寄付をした。

あの震災から3年以上が経った。私たちは「あの日を忘れない！ このことを風化させない」を合言葉にこの活動を続けて行く所存である。東北の人々の心に一日も早く本当の春が訪れることを祈っている。

（会長／藤原健二）

331-C地区

北海道・新冠ライオンズクラブ

春の交通安全運動

4月9日から14日にかけて、新冠ライオンズクラブ（谷口貞保会長／41人）は、交通安全運動街頭指導を行った。

この街頭指導は、町立新冠小学校に入学した新1年生ら児童の登校時間となる7時30分から8時に合わせて、町内2カ所の通学路交差点にメンバーが立って行う。

子どもたちが通る度に、クラブ用の赤いジャンパーを着用したメンバーたちが「おはよう」と声を掛ける。地元警察、地域の方や学校の先生方などと協力して4日間行った。

この事業は、未来ある子どもたちが安心して暮らせることを願い、当クラブの結成時から42年間、毎年行っている継続アクティビティである。活動を始めた当初は、町内4カ所にメンバーが立って声を掛けていた。しかし、小学校の統合によってスクールバスが導入されたこともあり、徒歩通学の子どもが減った。そこで現在は、徒歩通学の通学路交差点2カ所で実施している。

また、当クラブでは毎年、新入学児童には入学式に交通安全マーク入りの黄色いランドセルカバーをプレゼントしている。今年は50枚を贈呈。今までで延べ５５００枚以上を寄贈している。

新1年生や低学年の児童が、黄色のカバーを付けたランドセルを背負い登校してくるとうれしくなる。

朝、元気に登校する子どもたちに声を掛けながら、悲惨な交通事故から子どもたちを守ることが出来るようにと願って、交通安全の呼び掛けを実施している。年々入学児童が減少しているのが現状だが、今後も子どもたちが安心して通学出来る道を目指して継続していこうと思っている。

（PR委員長／西村修一）

332-D地区

福島県・飯野ライオンズクラブ

季節に合わせて維持管理 ライオンズ花壇除草作業

4月27日、飯野ライオンズクラブ（佐藤猛会長／39人）は午前6時から、福島市飯野町にある飯野ライオンズクラブ花壇で、除草作業を実施した。早朝にもかかわらず多くのライオンが参加し、膝や腰の痛みと戦いながら約１時間の作業に汗を流した。

ライオンズ花壇は１９７９年にスタートした。以来35年間、春はチューリップ、夏から秋にかけてはマリーゴールドが咲き、地域の皆様の心を和ませてきた。

この花壇の維持のために、定期的に早朝除草作業を実施している。毎年6月にチューリップの球根を採集し、地域の保育所・幼稚園へ寄贈。その後施肥、耕運を行い、月末にはマリーゴールドの苗６００本を移植する。それから秋までは手入れを続ける。11月には枯れたマリーゴールドを撤去し、再び施肥、耕運を行い、月末にはチューリップの球根１４００個を植える。これが一年の流れだ。

今年の春も昨年植えたチューリップが、色とりどりの花を奇麗に咲かせた。作業当日は、花壇の隙間に伸びた雑草をむしったり削ったりしながら整備をした。

この花壇は飯野町時代の役場、現在の支所、そして避難された飯舘村役場の前の幹線道路沿いという、多くの方の目に触れる場所にある。それもあってか、常々たくさんの方にお褒めの言葉を頂いている。

また、当クラブでは地元の地域福祉センター内でライオンズ庭園も管理している。今後もこれら環境美化と保全のアクティビティを続けていきたいと思っている。

（事務局員／朝倉博）

335-D地区

兵庫県・加古川東ライオンズクラブ

今期2回目 献血奉仕事業の実施

暖かな土曜日となった3月29日。加古川東ライオンズクラブ（吉島誠一郎会長／19人）の今期2回目の献血奉仕事業が、イオン加古川店で行われた。400ミリリットル献血のみの実施だった。

準備を済ませたところ、早くも受付に人が並び始めたため、早々に例会を終え、受付を開始。

昨年11月に実施した際は、寒い時期にもかかわらず目標の2万ミリリットルをクリアした。少し暖かくなった今回は、前回以上の献血量を確保したいとの思いでメンバーは集合した。

また、献血啓発のティッシュ配りも始めた。朝はつぼみだった桜の花が、午後には開き始めるほどの陽気のせいか、消費税増税直前のセールのおかげか、いつもに比べ買い物客も多く、午前、午後とも献血協力者が途絶えることがなかった。おかげで、当初予定していた受付人数70人をクリア。献血者へのお礼に配っていたパンと玉子も買い足すほどだった。午後4時に受付を終了。最終的な受付人数は79人、採血者数61人。確保量は、2万4400ミリリットルとなった。

この事業を通して感じることは、若い人の献血が少ないこと。今回のように実施が400ミリリットル献血のみとなると、体重の条件があることも要因の一つと考えることも出来るだろう。しかし、少しでも献血に関心を持ち意識する若い人が増えれば、更に多くの方の命が助かると思う。献血奉仕事業の実施だけではなく、献血に協力する気持ちを広めることもライオンズクラブとしての大切な役目の一つと感じた1日だった。

（幹事／北野紗恵子）

334-D地区

富山ライオンズクラブ

合同事業から単独事業へ カンボジアにランドセル寄贈

富山ライオンズクラブ（松本臣市会長／75人）は、2006年度に334-D地区第1リジョン第1ゾーンの合同アクティビティでスタートしたカンボジアの子どもたちにランドセルを送る事業を続けている。現在は当クラブ単独で実施しており、8年間継続している。今年5月に集積検品後に輸送した1980個を含め、これまでにカンボジアに送ったランドセルは1万1千個を超えた。パートナークラブのプノンペン・オーバイコーンライオンズクラブの協力で、プノンペン郊外の小学校やアンコールワット近くの小学校など10校以上に寄贈している。

初めは、富山市内にある60の小学校それぞれを訪問し、説明をし、集積していた。だが、現在は、小学校から問い合わせがくるほど認知され、地元メディアにも大きく取り上げられる事業になった。

この事業は、祖父母や親からプレゼントされ、大切に使ったランドセルを何かに役立てられないかと考えたことから始まった。小学校を卒業する子どもたちの思いと一緒に、学用品がほとんど支給されない国の子どもたちに届けている。

カンボジアでは小学生一人当たりの政府からの支援はわずか年1・5ドル。学校建設や学用品の支給など日本を始めとした他国からの支援が無ければ教育環境が整わない状況である。

今後もこの事業を継続し、物の支援だけではなく、日本の小学生とカンボジアの小学生との「心の交流」の一翼を担うことが出来れば、と考えている。

（カンボジアへランドセルを贈る委員会委員長／門前昌志）

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領：
会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

獅子吼

YCE生とのドイツでの再会

寶珠山　貞兆（福岡イースト）

私が2013年7月にドイツで開かれたハンブルク国際大会に参加したのは、ドイツ人の青年モーリッツ・ミシェルズ君に再会したいという思いが強かったからである。

彼は10年に来日した夏季YCE生だ。当時、モーリッツ君の父上からは、ドイツでお目にかかりたいので来独の際はぜひ連絡してほしいとメールがあった。お会い出来れば、所属するビスバーデン・ニロウベルグライオンズクラブで歓迎したいとのことだった。私も機会があればドイツのクラブの例会に出席したいと思っているとお伝えした。彼がドイツに帰った後も交流が続き、今日に至った。

7月4日、福岡国際空港からロシア・ハバロフスク経由でオランダ・アムステルダムへ約10時間の空の旅。そこから更に空路で約1時間、ドイツ連邦共和国の首都ベルリンに着いた。

モーリッツ君たちとの約束はホテル・ケンビンスキー・ブリストル・ベルリン。渋滞のため、20時の約束から約30分遅れて到着した。すぐさまモーリッツ君が私たちを見つけ、飛び出してきてハグ。感激‼　彼のご両親と通訳の女性の4人が出迎えてくださった。

私たちは準備されたホテルの個室で、テーブルを囲んで歓談した。いろいろな土産品を交換し、また同行の337-A地区第4リジョン第3ゾーンの加治冨美子ゾーン・チェアパーソンを紹介。終始和やかに懇談した。モーリッツ君の日本滞在中に印象に残った事柄、剣道の稽古や、長崎訪問、ホームステイ先の林家の子女たちとの交流など、思い出話に花が咲いた。当時既に身長180センチ以上だったモーリッツ君だが、更に伸びたようだ。現在はケルン大学社会学部の2年生で、将来を期待されている。

父君のラルフ氏は国民経済学の有資格者、母君のワグナー氏は地質学者として、地域社会に貢献する仕事もされている。ビスバーデンは古代ローマ時代から有名な温泉地だということで、日本語の資料を頂いた。ビスバーデンには現在五つのライオンズクラブがある。ラルフさんに福岡イーストライオンズクラブのバナーをお渡ししたところ、非常に美しい桜並木のようだと喜ばれ、事務所に飾ります、と言われた。次にクラブ役員についてお尋ねしたところ、福岡と異なり、1年ごとに選挙によって決めます、とのことだった。

16年は福岡で国際大会が開催されるので、ぜひ参加して頂きたいとお誘いした。父上も皆で訪日し、福岡大会に参加したいという思いはあるようだ。

最後に、モーリッツ君から福岡イーストライオンズクラブの皆様によろしく伝えてほしいとのことだった。

実は今回、モーリッツ君ご家族との会談の中でふと思った。これが本当の

イラスト／小川和政

獅子吼

国際交流だな、と。仮に国と国との間がギクシャクしていたとしても、我々のような善意の民間団体の広がりが、いつか大河の流れとなって、世界の平和に寄与することが出来るはずであり、これはすばらしいことだと。

ライオンズ精神の原点に戻って、我々は何をすべきか、我々に何が出来るのかをもう一度考えてみよう。我々の一日一日の積み重ねが、いつか世の中を照らす明かりになればと願いつつ、国際親善を期せずして成し遂げた喜びの中で‼　夢が奉仕に結びついたことが大きな自信となった。感無量である。

硝子ペン

中村 仁一（愛媛県・今治中央）

旅行や山登りをする人は大抵、旅の七つ道具とか山登りの七つ道具と称して、必要な物をまとめて携帯する。辞書を引くと七つ道具とは「一組にして携える種々の小道具のこと／具足、刀、太刀、弓、矢、母衣（ほろ）、兜など武士が戦の時に携えた道具／大名行列に用いた七つの用具／弁慶が背負ったという七種の武器」などと時代がかった例を引き、更に「女性が携帯するハサミ、小刀、針、耳かき、毛抜き、糸巻、爪切り」のことだと説明する。

ちまたに物があふれ、まだ十分使用に耐えうる物でも平気で捨てて、余分な物は手元に残さない。昨今はちょっとした旅ならポケットにキャッシュカードを用意して手ぶらで家を出ても、大抵の物は旅先で間に合わせることが可能になった。それでも、何々の七つ道具というものをそろえないと落ち着かないのが日本人。七つ道具と言っても必ずしも7種類ではなく、それをする時に役立つように便利にまとめられた道具類ということになるのだが、女性の七つ道具が裁縫道具だとすれば、男性のそれは文房具だろうか。しかし文房具と言っても多種多様で、職業によってさまざまに変わる。

54年もの間、司法書士として仕事をしている私の仕事場でも、事務機器の改良とかコンピューターの登場により、文房具もいろいろなものが出現しては消えていった。仕事を始めた半世紀以上前は、登記所・裁判所に提出する申請書や訴状はインクではダメで、半紙にカーボン紙か墨で書いた。従って筆記用具は必須だった。

半紙に縦書きする場合、一番書きやすいのは毛筆だが、小さい字や画数の多い字などを明確に書くため申請書などで多用したのが硝子（がらす）ペンだ。登記所や市役所も登記簿や戸籍簿などの公簿に記入するためにこれを使用した。硝子ペンのペン軸は木製が多く、簿記などの細字用には竹とかエボナイト製もあり、ペンの部分がガラスで出来ている。ペン軸にねじ込まれる0・5センチぐらいはらせん状になっていて、ペン先となる2センチは筆おろしをする前の毛筆の穂先のような形で、細くなった先端まで縦に8本の溝が付けられ、そこに墨汁をためて字が書ける仕組みになっている。使い始めはガラスのペン先が引っ掛かる感じで書きづらいが、しばらく使うと滑らかにスラスラと流れるような書き味になり、使い込むとガラスが摩耗して太字になった。だから同時に数本使用し、それぞれ使用頻度を変えることにより、細字用、中字用、太字用を作ったりしたが、ほど良く使い込んだ頃に床に落としてペン先が欠

け、トホホとなることもままあった。ガラスのペン先は消耗品だが、たった2センチのペン先がもたらす、お気に入りの書き味が出るように作り上げる文具である。私の硝子ペン用の墨壺は、ふたの裏に「岩岬史武兵順自造」と刻字がある矢立の墨壺部分くらいの大きさの真鍮(しんちゅう)製の年代物で、ガラスのペン先を洗う専用の洗器と共に、大事な顧客の書類作成七つ道具として愛用した。

その後、「リソーOKペン」というカーボン入り黒色インクのペンが理想科学という会社（年賀状作成機プリントゴッコをヒットさせた）から発売され、法務省など官公署がこれを採用するようになって、硝子ペンは過去のものとなった。更に事務所のOA化により申請書や訴状を手で書くという事務もなくなった。が、私は今も硝子ペンを使っている。

硝子ペンは物だが、長く使ううち、私にとって単なる物ではなくなってきた。この先も時々、この硝子ペンで、電線に止まったスズメなどを描きたい。小さい頃からずっと不思議に思っている、どうしてスズメの一群は一斉に電線にピタッと止まれるのか、という阿呆なことを考えながら。

変革と発展を遂げる中野の街と 東京中野ライオンズクラブ

高山 義章（東京中野）

東京・中野の街が大きく変貌しようとしている。現在中野区では、中野駅及び駅周辺において複数の開発計画を進めており、その中核となるのが、東京の新たなビジネス拠点を目指す大規模なオフィスビル「NAKANO CENTRAL PARK SOUTH（南棟）／EAST（東棟）」だ。また、駅近郊には明治大学、帝京平成大学、早稲田大学などの新たなキャンパスが開設される他、中野四季の森公園を含む約16・8ヘクタールの広大な再開発エリアの整備と、現在の中野駅の改札口から西に新たに設けられる新改札口など、再生事業が進んでいる。更に、中野ブロードウェイ・サンモール地区、中野サンプラザなど、街づくりグランドデザインは「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点づくり」（中野区）を目指すとしている。

変貌する中野の街で古くから活躍しているのが我が東京中野ライオンズクラブだ。今年度結成50周年を迎え、現在68人のメンバーを擁する。１９６４年に38人でスタートした当クラブはこれまでに、開眼検診、開眼手術の支援、交通安全車両や道路横断用小旗の寄贈、ボーイスカウト、ガールスカウト支援、盲導犬支援、障害者支援、教育支援、献血運動など、数えきれないほどの地域社会貢献をしてきた。この他、JR中野駅前に国旗掲揚塔設置、中野区役所前にライオン像を設置するなど、活動の幅を広げている。今期はクラブ結成50周年を記念して街のゆるキャラ

「なっこい」を、170もの応募の中から選び誕生させた他、地元中野を紹介するテレビ番組を制作。これはJCN中野で放送され、You Tubeでも見ることが出来る。第50期のアクティビティ・スローガンは「奉仕でつなぐ未来への夢　我が都市中野にWe Serve」だ。

先日、クラブの10周年記念誌を見る機会があった。南九州や北海道、インドネシアのバリ島やヨーロッパなど「旅とつどい」と題する親睦レポートや、ゴルフ部やボウリング部の記事があり、昔からメンバー間のさまざまな親睦の機会があったようだ。以降の周年記念各誌にも国内外の親睦旅行の様子が伝えられている。このあたりに「仲の良い（中野良い）」クラブ運営の秘訣があるのかもしれない。近年は地区内の多くのクラブで高齢化が進んで会員数が減少しており、特に半世紀の歴史を持つ古いクラブではそれが激しい。そんな中、当クラブでは古くから地元で事業を成功させているいわゆる地元の名士と言えるメンバーが多く、親から子への世代交代が進んでも「中野良い」交流を続けている。ちなみに今年の新年例会では全員で書き初めを行い、メンバー同士新年の抱負を披露しあった。

当クラブでは今年度、CEP（クラブ向上プロセス）委員会（田中清嗣委員長）を設置した。昨年度地区クラブ・サクセス委員長を務めたライオン佐々木洋文の指導によるものだ。更にキャビネット役員経験が豊富なライオン石井祐治がCEPファシリテーターの講習に参加するなど、クラブでの取り組みが進み、2月14日に初めてのCEP例会を開催、ワークショップを実施した。CEPの取り組みは330・A地区内では初めてということで、例会には近藤正彦第2副地区ガバナーを始め多くのキャビネット役員が参加された。

結成50周年を迎え、在籍するチャーター・メンバーはライオン河崎明彦ただ一人となったが、そのご子息ライオン河崎幹雄もメンバーであり、やはりチャーター・メンバーの令嬢ライオン溝口淑子も活躍している。我がクラブは中野の街と共に変革と発展を遂げているのである。

（クラブ会長）

４００％ＭＪＦへの軌跡

橋本　一将（北海道・札幌中島）

２０１３年７月のドイツ・ハンブルク国際大会で開催されたＭＪＦ昼食会において、３００％ＭＪＦクラブとして当札幌中島ライオンズクラブが表彰されました。これはまず１００％ＭＪＦの扉を開けることが出来たからこそ味わえた感動です。

始まりは94年、当クラブが結成された年です。同じゾーンの札幌オーロラライオンズクラブが北海道で初めての１００％ＭＪＦクラブとなりました。その偉業を目の当たりにし、すごいことだなと感心したものです。

その後、当クラブの結成15周年を迎えた08年、友好クラブである福岡北ライオンズクラブが25周年記念事業として１００％ＭＪＦを行っているのを見て、クラブ・メンバーが一丸となって取り組む価値のあることだと改めて感じました。そしてその証である黄色いフラッグが当クラブにも、とてもとても欲しくなったのです。

その年、鶴嶋浩二クラブ会長と矢部泰三会計という強烈なライオニズムを

持つ2トップと共に、私は幹事を務めていました。多くの人々に光を取り戻すためにも役立つMJF。これを記念事業の一つとして進めたい。「我々も100%MJFだ!」。そして準備委員会を立ち上げることになりました。

当時のライオンズ・レートは1ドル110円程。10万円を超える大金ですから、当然反対意見もありました。例会でLCIFの活動やMJFの意義、他クラブの状況などを示し、賛同を得るために多くの時間を割きましたが、なかなか思う通りにはならず、挫折寸前まで追い詰められました。

風前のともしびから脱出したのは、鶴嶋会長と矢部会計の強い信念と決断力、包容力とライオニズムでした。クラブ単独では実現不可能な、スケールが大きく重要な事業に、LCIFを通じて貢献出来ることをメンバー一人ひとりに説明しました。LCIFでは05年から3年計画で視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）を行っていました。その申請期限ぎりぎりの08年7月末、どうしても賛同を得られない5人の退会という犠牲を払い、クラブ例会で初めての100%MJFを可決。CSF献金として一人10万7千円の51人分を、9月に送金することが出来ました。これがクラブとしての歴史の1ページ目となったのでした。

200%MJF献金は、当クラブから伊藤信賢331-A地区ガバナーを輩出した2009年度に実現しました（7万8千円×52人）。韓国・釜山国際大会でのMJF昼食会で表彰され、登壇した小玉亨幸会長の、ひときわ輝く若きライオンの堂々たる姿に感激しました。これは、釜山大会に参加していた若いライオンたちから他のメンバーにもしっかりと伝えられ、300%へ向けた足掛かりになりました。

私が会長を務めていた13年5月、300%MJFを達成しました（9万8千円×57人）。3人の新会員には、一度に3口のMJFをお願いすることになりました。

そして今年度、当クラブは結成20周年を迎えます。記念事業の一つとして、13年7月に400%MJFを達成致しました（9万8千円×57人）。

これまでのMJFの累計総額は2405万1千円となりました。最初の100%があったからこそ継承されたアクティビティです。当クラブでは毎月の会費の中からMJF積み立てを始めています。運営費の見直しやドネーションの使途に工夫を重ね、未来に向け努力を惜しまず邁進する所存です。例会や理事会で互いの意見を出し合い尊重しつつ、実現に変えていく。ライオンズには多くの献金や、多くの労力奉仕をされている仲間が世界中に大勢います。何が奉仕活動につながるかを考え、どうしたら可能になるかを問いかけ、目的達成にはどのくらいの時間が掛かるのかを何度も検討すると、答えが出るかもしれません。

フェローとは仲間のこと。メルビン・ジョーンズの意志に賛同した札幌中島ライオンズクラブは歴代会長の下、クラブのチームワークをもって幅広くアクティビティを実施し、今日も奉仕活動に努めています。

おすすめの
ippin

宮崎県高千穂町
こびる

かつて高千穂では、田植え時期になると、田んぼのあちこちから「こびるにしよう」という声が聞こえてきたという。「こびる」は漢字で「小昼」と書き、朝食と昼食、昼食と夕食の間に食べる軽食のことを言う。昔は田植えや山仕事など、朝早くから日が落ちるまで外で働いた。そうした重労働の中、「こびる」の時間は待ち遠しい一時だったに違いない。

最近では、そんな光景も少なくなったようだが、その一方で、地域の食文化を伝えていこうという動きも出てきている。岩戸地区にある「こびるカフェ　千人の蔵」もその一つ。メニューは高千穂こびる研究会が中心となって開発し、地域の食材を使った料理で来客をもてなしている。

写真は高千穂のホテルをチェックアウトする時に渡してくれたおにぎりだが、幾つかの宿で同じようなサービスをしているらしい。こんなところにも、「こびる」の習慣が生きているのかもしれない。

●「千人の蔵」宮崎県西臼杵郡高千穂町大字岩戸五ケ村58

ふるさと探訪

島根県 安来市

文／砂山幹博　写真／田中勝明

旧母里藩の面影が残る町は、西日本屈指のフラワースポット

安来
YASUGI

宍道湖
松江市
中海
米子空港
山陰道
山陰本線
旧伯太町
島根県
鳥取県

島根県 安来市（やすぎ）

島根県の東部、鳥取県との県境に位置する。『出雲国風土記』によると、神代の昔、スサノオノミコトがこの地方に国境を作った際に言った「吾が御心は安平（やす）けくなりぬ」が、地名の由来と伝えられている。古くから良質の砂鉄が採れ、製鉄が盛んであった。江戸時代には、松江藩とその支藩（広瀬藩・母里藩）が置かれ、山陰道が通る港町として、和鉄や蔵米の集散地として発展した。2004年10月1日、安来市、広瀬町、伯太町の合併で、新生「安来市」が誕生し、このほど市制10年を迎えた。
総面積／420.97平方キロ
総人口／41,008人（2014年4月末現在）

西日本一のチューリップ畑

安来と聞けば、どじょうすくいでおなじみの民謡、安来節を思い浮かべる人が多いだろう。その一方で、意外に知られていないのが、西日本最大規模の栽培面積を誇るチューリップ生産地だということ。毎年4月中旬には、約3ヘクタールの畑に100種類以上、60万本が咲き誇る、はくたチューリップ祭が開かれ多くの人でにぎわう。

赤、白、黄色どころか、オレンジにピンク、紫、緑と多彩な色がそろう。形状もおなじみのカップ咲き以外に、ユリ咲きや花弁が多い八重咲き、ギザギザの入ったフリンジ咲きとさまざまだ。一面に広がる花を眺めるだけでも楽しいが、祭りでは1本50円で好きなチューリップを球根ごと持ち帰ることが出来る。価格は26年前の開催当初から据え置き。しかも球根は秋に植えると翌年の春にまた花を咲かせるとあって、二度楽しむことが出来るのもうれしい。

もともとこの地のチューリップ栽培は、安来市と合併する前の旧伯太（はくた）町で水田の裏作として始まった。チューリップ生産の先進地である富山県や新潟県の栽培方法を取り入れ、少しずつ作付面積を増やしてきた。チューリップは寒さに強く、水を好む植物である。その点、安来市や富山、新潟など山陰、北陸の日本海側は「弁当忘れても傘忘れるな」のことわざがあるぐらい、冬場の降水量が多く、球根栽培に適した気候となっている。

旧伯太町でチューリップ栽培が始まってから20年を記念して農協球根部会の十数人で見本市を開いたのが、はくたチューリップ祭の始まり。最初はわずか2反（20アール）の規模だったが、噂は口コミでまたたく間に広がった。5年のうちに市内はもとより近隣の松江や米子（鳥取県）、広島県や岡山県などから大勢訪れるようになり、部会のメンバーだけで続けるのが難しくなってきた。折しも、安来市との合併があり、合併以降は市が祭りの運営を引き受けている。ピーク時には、最大12ヘクタールのチューリップ畑が点在していたが、作り手の高齢化や、輸入自由化による価格破壊で生産農家は長く苦戦を強いられ

江戸時代の武家、商家が残る母里1万石の町並み

毎年4月中頃に、60万本が花開く
はくたチューリップ祭が開催される

ている。それでも市やJA、NPO、市民らが手を取り合って祭りを支えてきた。

祭りが終わると、チューリップ畑は水田に姿を変える。稲穂に風車の景色は何とも不思議な光景だが、それも安来らしさに思えてくる。稲が刈り取られた後、10月末から11月初めの天候の良い時に、来春の祭りで花を咲かせるべく球根が植えられる。

豊富な竹林を背景に、旧伯太町の特産品にもなっている竹炭。水質浄化や調湿効果、脱臭効果があり、近年とみに人気が高まっている（撮影協力：上十年畑やまこ会）

母里1万石の城下町

はくたチューリップ祭が行われる旧伯太町エリアの大部分が、かつての母里（もり）藩の領地。松江藩の支藩として創設された1万石の城下町として栄えた。ただ、藩主は江戸定府だったため、国元にはわずかな家臣が残るだけだった。現在も街道沿いに江戸時代の面影を残す武家屋敷が点在している。面白いことに、どの屋敷も通りに対して斜めに建っている。これは武者隠しといって、隣家との境をずらすことで、人が一人隠れられるスペースを設けているもの。有事の備えである。

江戸で暮らす藩主へは国元から送金する必要があったが、母里藩は領地のほとんどが山間地とあって米も野菜もそう採れない。そこで資金獲得のために目を付けたのが鉄であった。砂鉄から和鋼を製造し、母里鉄と名付けて大阪方面へ出荷。質の良い鉄だったようで、刀にするのに適していた。城下町には鉄を商う商人も住み着き、武家屋敷に混じって商家も建ち並んだ。

母里藩創設の少し前、戦国時代の話になるが、NHK大河ドラマ「軍

囲炉裏や蚊帳で過ごすなど、田舎体験が出来る民宿としてよみがえった古民家で。梶谷厚さん（中央）と小松原勝之会長（右）

師官兵衛」にも登場する母里太兵衛にまつわるエピソードも紹介したい。母里太兵衛とは、黒田官兵衛の精鋭集団の中でも群を抜いて戦功を挙げた猛将。槍の名手として戦場では常に先陣を切って活躍し、民謡「黒田節」にある、福島正則から名槍日本号を飲み取った逸話でも知られる。太兵衛は主の命によって、母方の姓を名乗っているのだが、この母というのが出雲国母里（後の母里藩）の出だという説がある。母里太兵衛ゆかりの地ということで、市内の有志が顕彰会を立ち上げ、地域の活性化に取り組むなど、盛り上がりを見せていた。

「昔ながら」を訪ねて

安来らしさを求めて、市内を訪ね歩いてみた。最初に訪れたのは、大正15年創業のしょうゆ店。

「富山の置き薬は有名ですが、島根には置きしょうゆがあります」と話すのは、大正屋醤油の山本周作さん。御用聞きに訪問した際、あらかじめ置かせてもらっているしょうゆ箱をチェックし、なくなっていたら新品と交換していく仕組みで、メーカー自らが行っている。島根県には組合に所属しているしょうゆメーカーだけで60社もあり、他の都道府県に比べると圧倒的に多い。その多くが家族経営規模の店だが、これほどたくさんのしょうゆ店が存在する理由は、置きしょうゆの仕組みが残っているからだと山本さんは話す。勝手に家に入って箱をチェックしていくため、セキュリティーの厳しい最近の住宅事情ではなかなか継続しにくい慣習だが、現在でも山本さんの店では約500軒に納めている。

巨大な杉桶にすみ着いている菌だけで発酵させる昔ながらの製法でしょうゆを造る（撮影協力：大正屋醤油）

地元の減農薬大豆に、地元の小麦を使うのが大正屋のしょうゆ造り。巨大な杉桶にすみ着く何百種類もの菌の働きに任せて発酵させる、昔ながらの製法だ。山陰のしょうゆの特徴は、抽出したしょうゆにもう一度麹を入れて仕込む濃い口タイプであること。中でも、火入れ殺菌や濾過もせずに、もろみをゆっくり絞っただけの生醤油がこちらの自信作だ。身体に良い微生物を含んだしょうゆをそのまま瓶詰めするため、味や香りにとがったところがなく、まろやかな味わいに仕上がる。

次に訪れたのは、鳥取県との県境の山中の建物。大正の頃、農家の親方の住まいとして建てられた2階建ての古民家である。ずっと空き家になっていたものを、会社役員の本間順一さんが買い取って改修・整備した。古民家は2007年に、伯太文化伝承館として生まれ変わり、山村文化を後世に伝える役目を果たすこととなった。養蚕に使われていた2階広間には、前の持ち主が収集していた骨董品や、近隣から集めた古い農具が展示され、1階部分は民宿としても利用出来る多目的スペースとなっている。宿泊者は、春は山菜採りに汗を流し、ホタル舞う夏は縁側で涼み、秋には収穫体験、冬は囲炉裏を囲んで暖を取るといったひと昔前の田舎生活を体験することが出来る。以前、定年退職した老夫婦がこの古民家を拠点に、バスと電車を使って日中は鳥取砂丘や出雲大社へと出掛け、夜は五右衛門風呂で疲れを取り、蚊帳の中でゆっくり休むという長期滞在をしたという話を聞いた。時間に余裕があれば、思う存分田舎体験をしてみるのも悪くない。

▼取材協力クラブ

伯太ライオンズクラブ（小松原勝之会長／9人）＝1976年5月9日結成／スポンサー：出雲広瀬ライオンズクラブ／クラブで継続してきた代表的なアクティビティは、YCE生の受け入れ。2013・14年度も12月15～27日の13日間、マレーシア・サラワク州からのYCE来日生の冬期受け入れを行った。

読者から―5月号

■今後検討すべき資金獲得事業

5月号の特集である資金獲得事業には、興味がありました。良いテーマを選んで頂いたと思います。資金獲得事業を行うことはなかなか難しいですが、メンバーの減少による資金不足を補うためには、各クラブとも今後、積極的に検討していかなければいけない課題であると思います。そうしたことから、このテーマは非常に参考になったのではないでしょうか。

5月号で紹介された海外のアクティビティと同じような企画を実施することは簡単には出来ませんが、この記事からヒントを得て、自クラブではどのようなことが出来るか、考えていきたいと思います。

兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ●松本晃一

■献眼登録の重要さを再認識

獅子吼の投稿「献眼活動に思う」を読んで、献眼登録の重要性を再認識した。私自身も母を亡くした時、葬儀の準備や連絡に追われ、献眼には全く気が回らなかった。我々の地区でも角膜提供活動が積極的に推進されている。私も妻と一緒に献眼登録を行った。遺族となる子どもたちには、日頃から献眼の意思を伝え「人生最後で最大の奉仕活動」をしたいと考えている。故人のご冥福をお祈りすると共に、英断をされたご遺族と筆者に心から敬意を表します。

長崎西ライオンズクラブ●清水邦男

■ライオンズの団結活躍

クラブ・リポートの中で、印象深かったのは、「神津島ライオンズクラブチャーター・ナイトを迎え」です。失礼ながら、伊豆七島の中ほどに位置する人口2千人の村にライオンズクラブがあること自体、驚きでした。そこで本土のライオンズクラブの方の尽力で「神津島蛍祭り」が開催されたことはすばらしいと思いました。

新潟内野ライオンズクラブ●清水雅昭

■汗をかき知恵を出す奉仕

「もう一度読みたい『あの記事』」はまさに共感する記事でした。この記事を読ませて頂き、私なりに感じたことは、知恵だけ出して、汗をかかない奉仕は何の感動も達成感もない、ということ。また、汗だけかいて、知恵のない奉仕も同様だと思いました。大切なことは奉仕をさせて頂く側と、奉仕を受ける側とが共に知恵を出し、汗をかくことだと気付くことが出来ました。

広島県・呉ライオンズクラブ●濱井雅彦

●ライオン誌事務所来訪者芳名録

月	日	クラブ	氏名
4	23	千葉	岡野 正義
4	24	鳥取県倉吉打吹	尾崎 明雄
4	25	福井県敦賀みなと	清水 直喜
4	30	宮城県仙台青葉	平嶋 敬義
5	16	沖縄県八重山	識名 安信
5	19	福井県敦賀シニア	山崎俊太郎
5	22	千葉県四街道	楠岡 巖

読者プレゼント

■安来市の生醤油を読者5人に

今月号「ふるさと探訪」(49～53ページ)の記事の中で紹介した島根県安来市の㈱大正屋醤油店(www.taishoya.jp)から、国内産丸大豆生醤油(720ミリリットル2本1組)が、5人の読者にプレゼントされます。大正屋醤油店は大正15年創業。昔ながらの製法で醸され、100年以上受け継がれてきた杉桶でゆっくりと熟成されたしょうゆは、まろやかで深みのある味です。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「生醤油」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は7月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階　ライオン誌事務所

＊オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp)の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

〈56ページクイズの解答〉第1問=a.／第2問=b.／第3問=c.／第4問=a.／第5問=c.

『ライオン誌』バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

●1988年6月号　ライオンズ通り

「ライオニズムの哲学」

佐藤良一（宮崎フェニックス ライオンズクラブ）

15年くらい前になるだろうか、日本が高度経済成長の極みに達し、追いかける目標を失いかけた頃、あらゆる分野で「原点に立ち返って」という言葉が流行し、ライオンズクラブでもあちこちで聞くようになった。あまりにも「原点、原点」という言葉を耳にするものだから、原点とは何か、と疑問を抱くようになり、先輩にも聞いてみた。すると、ある先輩は「『ライオンズ必携』が原点だよ」と言い、ある先輩は「ライオニズムだよ」と言った。

私は納得がいかなかった。原点とは一つではないのか。それを見れば氷が溶けるようにライオンズが理解出来るもの、それが「原点」ではないのか。私はその原点を探し『ライオンズの原点』という本がライオン誌日本語版事務所から発刊されている（現在は絶版）ことを知った。

私は早速取り寄せて読んだ。その中にメルビン・ジョーンズが1957年10月の英語版ライオン誌に寄稿した「インスピレーション　オブ　ライオニズム（邦題：ライオニズムのいぶき）」という論文が掲載されていた。その論文を読んだところ、何となく引っかかるものがあった。何回も読んでは考え、考えては読み返していくうちに「これこそ原点だ」と思った。今まで心に引っかかっていたものが、不思議とスーッと消えたのだ。

その論文では次のように述べられている。

「私はある病院のベッドの傍らに立って、医師が若い母親の目から静かに包帯を外すのを見つめていた。（中略）光を取り戻した彼女の笑顔の輝き――見守る人々の目に笑いと涙が入り混じる。この時私は知ったのである。なぜ（中略）人々が喜んでライオンズに身を捧げるのか、その訳を。ライオニズムは実に大いなるものを彼らに与えてくれる。彼らは身をもってこのことを学んだのであった」

この感動をジョーンズは、ライオニズムのインスピレーションだと言っているのだ。

また「スポットライトの輝く光が広い会場をよぎり、やがて母国の国旗の上を静かに照らす時、背の高い屈強な男たちの目に涙が光るのを私は見た」と述べ、国旗掲揚の儀式も一つのライオニズムのインスピレーションであり、「インスピレーションとは人間の本能や感受性を刺激し、行動力を高める力がある」とつづっていた。

辞書によるとインスピレーションとは「霊感」「天来の感興」の意味。私はこのインスピレーション（ライオニズムの衝撃と言いたいのだが）こそが原点だと思う。思い起こして頂きたい。ジョーンズが述べているこの感動は各人がアクティビティや年次大会に参加することによって大なり小なり体験していることだ。そしてこの体験は、私たちを謙虚にする力があると思う。

（インスピレーションという衝撃によって心が洗われるのかもしれないが）アクティビティによって受ける感動があり、そんな貴重な体験をしたことに感謝の気持ちが起こるのも当然だし、謙虚にもなるはずだ。私は今後も、アクティビティや各種大会を通じて、ジョーンズの「インスピレーション　オブ　ライオニズム」をより深く、鮮明に理解し、印象付け、自分の心に磨きをかけたいと思っている。

ライオン誌例会のススメ
―次の例会ですぐ使える情報

何でも日本一

■最も歴史あるクラブ

1952年に日本で最初に結成されたクラブは、周知の通り東京ライオンズクラブ。スポンサーがフィリピン・マニラライオンズクラブであることもよく知られているはずだ。そこから更に系譜をさかのぼると、アメリカ・ハワイ州ホノルルライオンズクラブ、カリフォルニア州ロングビーチライオンズクラブ、同州ロサンゼルスライオンズクラブ、そしてイリノイ州シカゴ・セントラルライオンズクラブへたどり着く。「ライオンズクラブ」の名称を決めた第1回大会に参加した22クラブの一つで、創設者メルビン・ジョーンズが在籍したクラブだ。

次号予告

THEME **トロント国際大会**

年に一度、世界各国の会員が一堂に集う国際大会。今年の大会は7月4日〜8日、カナダ最大の都市トロントで開かれる。大会の模様を臨場感ある写真と共にリポートする他、大会閉会式で就任する2014-15年度国際会長のテーマやプロフィールを紹介する。

クイズ de 例会

〈第1問〉今月号THEME「炊き出しグランプリ」でグランプリとなった青森県・弘前東奥ライオンズクラブの所属地区は？

a. 332-A　b. 332-B
c. 332-C

〈第2問〉準グランプリに選ばれた炊き出し料理は？

a. 切り込みうどん
b. 打ち込みうどん
c. 投げ込みうどん

〈第3問〉現在、日本には何人の地区ガバナーがいる？

a. 25人　b. 30人　c. 35人

〈第4問〉副地区ガバナー立候補要件にある役職は、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区幹事、もう一つは？

a. 地区会計　b. 地区委員長
c. 地区事務局長

〈第5問〉日本の2014-15年度地区ガバナーのうち最年少は何歳？

a. 55歳　b. 56歳　c. 57歳

★回答は54ページ下

この日・この月

1961年7月、後に現在の青少年キャンプ及び交換（YCE）プログラムに発展する**第1回日米夏期学生交換計画**が行われた。この計画は兵庫県・神戸イーストライオンズクラブの提案により、当時の302W地区第1リジョン第3ゾーン（兵庫県）とアメリカの4複合地区（カリフォルニア州・ネバダ州）との間で実施され、日本人学生9人とアメリカ人学生13人が太平洋を越えて異文化を体験した。日本の学生たちは7月7日に神戸港を出港し、2週間の船旅の後、アメリカ西海岸3都市のライオンズ会員宅にホームステイしながら6週間を過ごした。国際親善が世界平和につながると考えた日本のライオンたちの信念が、半世紀以上続くアクティビティを生み出した。

今月号の記事から

今月号THEME（5〜15ページ）は大災害被災地に赴いて支援活動を行ったクラブの炊き出し料理を紹介しました。温かいもの、他団体が提供しないものなどそれぞれ工夫がある中、共通するのは郷土色豊かなところ。もし自分たちのクラブが炊き出しを行うとしたら、メニューは何にするか、実行するには何が必要か、考えてみてはどうでしょう。

★本号とバックナンバーをライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）でEブック形式で公開しています。例会で本誌の記事を話題にする際に誌面をスクリーンに表示するなどして、ご活用ください。

編集室

ライオン誌の活用と参加を

ライオン誌日本語版委員を拝命し1年が過ぎようとしております。この1年、月1度の委員会会議や特集企画のライオンズ若手会員フォーラム開催などを経験しました。「ライオン誌はライオンのバイブルだ」という先輩の言葉を胸に活動してまいりましたが、まさしくその通りでありました。

ライオン誌
日本語版委員
◉
佐藤義則
(宮城県・蔵王)

毎月の会議では各号の内容を精査し、読後アンケートによるライオン誌サポーターの的確な意見も参考にしながら誌面を作っていきます。国際的な動向を伝え、多方面にわたって各クラブの活動に役立つ情報を提供しているものと自負しています。

ライオン誌が発行する出版物の一つに、ライオン誌日本語版創刊号の復刻版があります。当時の記事からは、諸先輩ライオンの行動が我々に脈々と受け継がれていることが感じられます。この創刊号は横書きで左開きになっていますが、現在はご覧の通り縦書きの右開きです。時代の変遷と共に、歴代の委員会はより良い誌面を作るために変化を試みてきました。現在も、本年9月号からの新企画を含む誌面刷新を計画中です。全国のライオンズの活動をより分かりやすく読者に伝えられるよう、工夫しているところです。

また連載中の「ライオン誌例会のススメ」(右ページ)は、本誌をもっと役立てて頂けるようにと設けられたページです。私はこの委員会に加わって初めて、一人でも多くの人にライオン誌を読んでもらいたいという委員会の強い熱意を知りました。

読者の皆さんにはぜひ好きなコラムからお読み頂き、クラブにとって有益だと思う情報は例会で他の会員と共有して頂きたいと思います。本誌のバックナンバーはいつでも読めるよう、ライオン誌ウェブマガジン上にも掲載しております。こちらもご活用ください。

ライオン誌の記事の多くは、会員の皆さんの投稿や情報提供によって作られています。「クラブ・リポート」や「獅子吼」欄への投稿を通じて、本誌への積極的なご参加もお願いします。

Official publication of Lions Clubs International

EXECUTIVE OFFICERS
President Barry J. Palmer, PO Box 200, Berowra, NSW 2081, Australia; Immediate Past President Wayne A. Madden, PO Box 208, Auburn, Indiana 46706, USA; First Vice President Joseph Preston, Dewey, Arizona, USA; Second Vice President Jitsuhiro Yamada, Gifu, Japan.

DIRECTORS
Second year directors
Benedict Ancar, Bucharest, Romania; Jaime Garcia Cepeda, Bogotá, Colombia; Jui-Tai Chang, Multiple District 300 Taiwan; Kalle Elster, Tallinn, Estonia; Stephen Michael Glass, Bridgeport, West Virginia, USA; Judith Hankom, Hampton, Iowa, USA; John A. Harper, Cheyenne, Wyoming, USA; Sangeeta Jatia, Kolkata, West Bengal, India; Sheryl May Jensen, Rotorua, New Zealand; Stacey W. Jones, Miami Gardens, Florida, USA; Dr. Tae-Young Kim, Incheon, Korea; Donal W. Knipp, Auxvasse, Missouri, USA; Sunil Kumar R., Secunderabad, India; Kenneth Persson, Vellinge, Sweden; Dr. Ichiro Takehisa, Tokushima, Japan; Dr. H. Hauser Weiler, Kilmarnock, Virginia, USA; Harvey F. Whitley, Monroe, North Carolina, USA.

First year directors
Fabio de Almeida, Guarulhos SP, Brazil; Lawrence A. "Larry" Dicus, Whittier, California USA; Roberto Fresia, ; Alexis Vincent Gomes, Pointe-Noire, Republic of Congo; Cynthia B. Gregg, Belle Vernon, Pennsylvania, USA;Byung-Gi Kim, Korea; Esther LaMothe, Jackson, Michigan, USA; Yves Léveillé, Howick, Quebec, Canada; Teresa Mann, Hong Kong, China; Raju V. Manwani, Mumbai, India; William A. McKinney, Highland, Illinois, USA; Michael Edward Molenda, Hastings, Minnesota, USA; John Pettis, Jr., Merrimac, Massachusetts, USA; Carl Robert Rettby, Neuchatel, Switzerland; Emine Oya Sebük, Istanbul, Turkey; Hidenori Shimizu, Gunma, Japan; Dr. Steven Tremaroli, Huntington, New York, USA.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される－英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　武久一郎
国際理事　清水英徳
委員長　茂尾　実（331複合地区）
編集長　団　英男（335複合地区）
委　員　大熊泰雄（330複合地区）
委　員　佐藤義則（332複合地区）
委　員　小西宗仁（333複合地区）
委　員　大村行範（334複合地区）
委　員　組嶽晶一（336複合地区）
委　員　田崎登保（337複合地区）

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

日本のライオンズ

2014.5.31　eMMR ServannA報告による

地区	都道府県	クラブ数	会員数	男性会員	女性会員	女性の割合%	期首からの増減
330-A	東京	202	5,696	4,443	1,253	22.0	892
330-B	神奈川·山梨·東京	166	4,774	4,064	710	14.9	144
330-C	埼玉	93	2,404	2,016	388	16.1	199
330	計	461	12,874	10,523	2,351	18.3	1,235
331-A	北海道(道央)	73	2,671	2,290	381	14.3	312
331-B	北海道(道北·道東)	88	2,616	2,308	308	11.8	222
331-C	北海道(道南)	52	1,823	1,605	218	12.0	65
331	計	213	7,110	6,203	907	12.8	599
332-A	青森	66	2,015	1,646	369	18.3	165
332-B	岩手	53	2,280	1,583	697	30.6	126
332-C	宮城	75	1,638	1,295	343	20.9	91
332-D	福島	73	2,333	1,878	455	19.5	395
332-E	山形	56	1,866	1,613	253	13.6	94
332-F	秋田	47	1,392	1,049	343	24.6	64
332	計	370	11,524	9,064	2,460	21.3	935
333-A	新潟	76	3,328	2,628	700	21.0	551
333-B	栃木	53	1,676	1,126	550	32.8	307
333-C	千葉·東京	141	3,791	2,979	812	21.4	301
333-D	群馬	53	2,304	1,720	584	25.3	313
333-E	茨城	80	3,750	2,787	963	25.7	921
333	計	403	14,849	11,240	3,609	24.3	2,393
334-A	愛知	120	6,165	4,704	1,461	23.7	1,175
334-B	岐阜·三重	82	5,440	3,606	1,834	33.7	1,197
334-C	静岡	82	3,696	3,042	654	17.7	636
334-D	富山·石川·福井	99	5,953	3,982	1,971	33.1	2,136
334-E	長野	52	2,474	1,893	581	23.5	543
334	計	435	23,728	17,227	6,501	27.4	5,687
335-A	兵庫(東)	90	2,265	1,865	400	17.7	117
335-B	大阪·和歌山	178	6,302	4,969	1,333	21.2	922
335-C	滋賀·京都·奈良	120	3,934	3,533	401	10.2	102
335-D	兵庫(西)	65	2,055	1,722	333	16.2	190
335	計	453	14,556	12,089	2,467	16.9	1,331
336-A	徳島·高知·香川·愛媛	149	6,316	4,861	1,455	23.0	1,017
336-B	鳥取·岡山	97	3,096	2,752	344	11.1	31
336-C	広島	101	3,339	3,119	220	6.6	14
336-D	島根·山口	96	3,212	2,884	328	10.2	146
336	計	443	15,963	13,616	2,347	14.7	1,208
337-A	福岡·長崎	115	4,751	3,968	783	16.5	308
337-B	大分·宮崎	70	2,447	2,130	317	13.0	183
337-C	佐賀·長崎	83	3,595	2,691	904	25.1	596
337-D	鹿児島·沖縄	80	2,364	2,147	217	9.2	50
337-E	熊本	58	1,628	1,418	210	12.9	96
337	計	406	14,785	12,354	2,431	16.4	1,233
総計		3,184	115,389	92,316	23,073	20.0	14,621
世界のライオンズの		6.8%	8.3%	9.0%	6.3%		

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2014.5.31　国際協会集計

ライオンズ国または領域　208
世界のクラブ数　46,713
世界の会員数　1,390,593
　※男性会員数　1,026,223
　※女性会員数　364,370
期首からの増減　43,138

国	クラブ数	会員数	期首からの増減
アメリカ	11,910	334,724	-3,069
インド	6,335	235,689	10,009
韓国	2,077	79,073	816

ライオン誌日本語版出版物 注文書

ライオンズクラブ入門　クラブ運営の基礎知識　リーダーシップを養う　『ライオン誌』創刊号復刻版

ライオンズ力を高める　LCIF早分かり　ライオニズムよ永遠に　ウィ・サーブ

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名･クラブ名･お名前･ご住所･お電話番号を明記し、office@thelion.jp宛てにご注文ください。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書･振込用紙は、品物に同封します。(大口注文の場合は別便で送付)
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所(FAX：03-3546-2630)

ライオン誌日本語版出版物　注文書

- ●ライオンズスクール初級編『ライオンズクラブ入門』 ……………… 部
- ●ライオンズスクール中級編『クラブ運営の基礎知識』 ……………… 部
- ●ライオンズスクール上級編『リーダーシップを養う』 ……………… 部
- ●『ライオンズ力を高める』成り立ちから組織、運営まで分かる簡単ガイド ……… 部
- ●『LCIF早分かり』世界ナンバー1 NGOの簡単ガイド ……………… 部
- ●『ライオニズムよ永遠に』メルビン･ジョーンズとその時代 ……………… 部
- ●『ウィ･サーブ』日本ライオンズ半世紀の航跡 ……………… 部
- ●『ライオン誌』日本語版創刊号復刻版 ……………… 部

地区名　33　-	クラブ名	お名前(クラブで注文の場合は不要)
ご住所 〒　-		お電話番号

ライオン誌7月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費78円
2014年（平成26年）6月20日発行　毎月1回20日発行　第57巻第1号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階　Tel 03-3542-9571
印刷所　凸版印刷株式会社

高田大隈つどいの丘商店街

●カフェフードバー わいわい●和風スナック 竹林●おやこの広場 きらりんきっず●公文式高田教室●運転代行トマリー●CPサロン ピネッド●LOOP●おやつと駄菓子の店 beach de Café●高田駅前 カンナ●陸丸●パッケージプラザ ヨネザワ●陸前高田まちづくり協働センター●一般社団法人 SAVE TAKATA

高田大隈つどいの丘商店街
岩手県陸前高田市高田町字大隅93-1
http://rt-tsudoinooka.com/
https://www.facebook.com/takatatsudoi

高田大隈つどいの丘商店街はLCIFの東日本大震災指定交付金を受けました

Lions Clubs International FOUNDATION